

下  
関  
海  
峡

エ  
リ  
ア  
ビ  
ジ  
ョ  
ン

# 目次

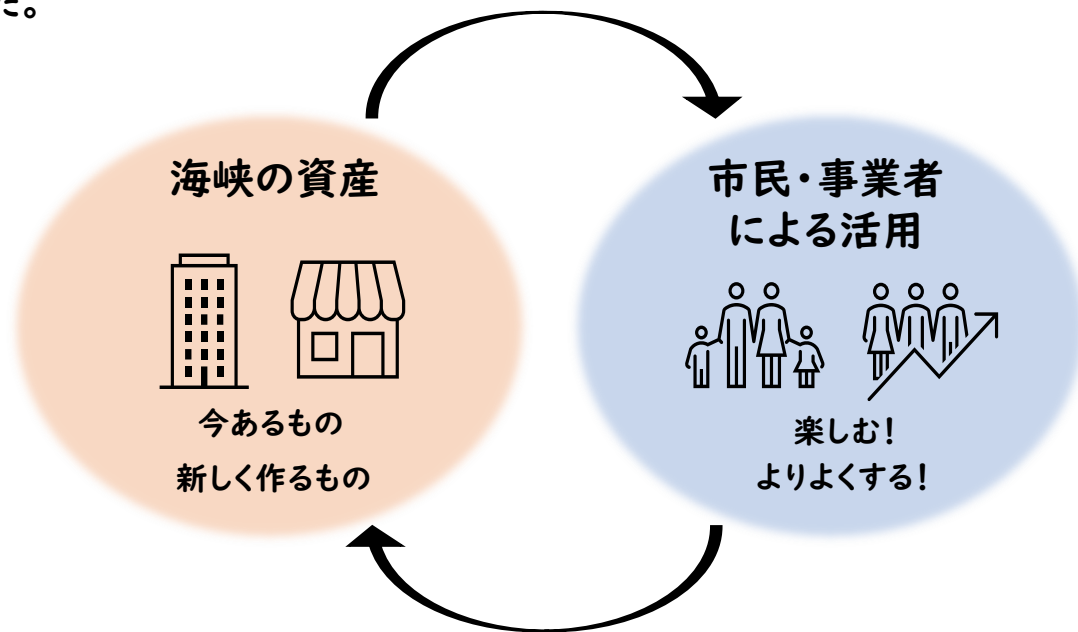
I.全体ビジョン	3	IV.火の山・壇之浦エリア	36
下関海峡エリアビジョン策定の背景	4	火の山・壇之浦エリアの市民の声の整理	37
下関海峡エリアビジョンとは	5	火の山・壇之浦エリアのこれまで	38
全体ビジョン	6	火の山・壇之浦エリアの特徴(全体・地点別)	39
全体ビジョンの考え方	7	火の山・壇之浦エリアのまちの分析	40
3つのエリア(下関駅エリア、あるかぼーと・唐戸エリア、 火の山・壇之浦エリア)	8	火の山・壇之浦エリアにおける将来の方向性の検討	41
		光の山プロジェクトイメージパース	42
		火の山・壇之浦エリアの将来イメージ	43
II.下関駅エリア	9	V.繋げる・広がる	46
下関駅エリアの市民の声の整理	10	繋げる・広がる	47
下関駅エリアのこれまで	11	エリアを繋げる	48
下関駅エリアの特徴(全体)	12	繋げる・広がる将来イメージ	49
下関駅エリアの特徴(地点別)	13		
下関駅エリアのまちの分析	14	VI.今後の推進体制	50
下関駅エリアにおける将来の方向性の検討	15	今後の推進体制	51
下関駅エリアの将来イメージ	16		
III.あるかぼーと・唐戸エリア	21		
あるかぼーと・唐戸エリアの市民の声の整理	22	参考	52
あるかぼーと・唐戸エリアのこれまで	23	・ 下関海峡エリアビジョン策定の流れ	53
あるかぼーと・唐戸エリアの特徴(全体)	24	・ 「d design travel WORKSHOP 下関海峡エリア号」・ プレ次世代MTG(2019年度)	54
あるかぼーと・唐戸エリアの特徴(地点別)	25	・ サキミル会議(2020年度)	55
あるかぼーと・唐戸エリアのまちの分析	26	・ サキミル会議NEXT(2021年度)	56
あるかぼーと・唐戸エリアにおける将来の方向性の検討	27	・ カイキョーソトアソビ(2021年度実証実験)	57
あるかぼーと・唐戸エリアの将来イメージ	28	・ 市民広場・都市公園を使ってみよう	58
		・ エキマチ広場・道路空間を使ってみよう	59
		・ 支援制度一覧	60

An aerial photograph of a coastal city, likely Kobe, Japan, showing a large bay, a dam, and dense urban development. The water is a clear turquoise color. The city is built on a mix of flat land and hillsides. A prominent dam structure spans across the bay, connecting two landmasses. The text 'I.全体ビジョン' is overlaid in a white box with a black border in the center of the image.

# I.全体ビジョン

## 下関海峡エリアビジョン策定の背景

- 下関海峡エリアには、自然や歴史、文化など、地域に根差し、この地域にしかない魅力的なスポットが既に存在しています。
- 同時に、星野リゾートのあるかぼーとへの進出や火の山再編整備等を契機に、新たなまちづくりが進む予定です。
- これまでは行政や事業者が、別々にまちの開発を進め、まちが整備されてきましたが、価値観が多様化し、まちに様々な役割が求められる現代においては、これまで通りのやり方では市民の期待に応えることが難しくなっています。
- 下関海峡エリアでは、公共空間を活用したマルシェ、空き家を活用したリノベーションなど、これまで使われていなかった「資産」を市民の手で活用する取組も広がっており、まちを盛り上げる機運が高まっています。
- こうしたことから、行政だけではなく、市民や事業者の皆様といっしょに、まち全体の方向性を示すエリアビジョンを策定することとなりました。



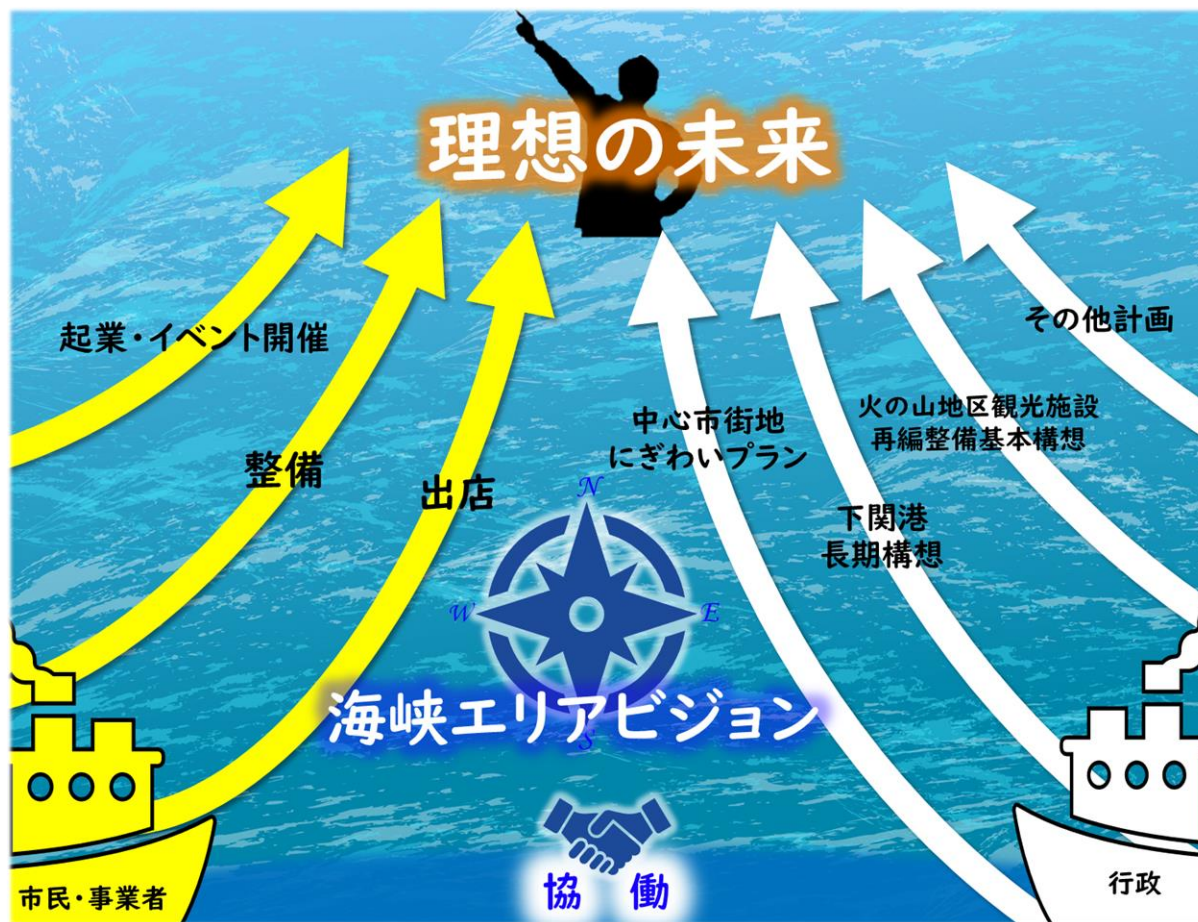
※「下関海峡エリア」とは、JR下関駅から火の山までの関門海峡を望むエリア一帯を指します。

## 下関海峡エリアビジョンとは

下関海峡エリアビジョンは、

市民、事業者、行政など、海峡エリアに関わる全ての人が共有すべき**「羅針盤」**です。

- 下関海峡エリアビジョンは、海峡エリアの目指すべき将来像やまちづくりの方向性を示すもので、「市民」、「事業者」、「行政」などがその将来像と方向性を共有するための羅針盤として位置付けるものです。
- このエリアビジョンを手に持ち、海峡エリアに思いを持った市民や事業者の皆様と行政が連携したまちづくりを進めることにより、魅力あふれるまちになることを目指しています。



カイキヨ  
「暮らし。」

カイキヨ、よってく？



# 全体ビジョンの考え方

1. 「他にはない」海峡の魅力を、「いつも側にある」体験に昇華する。

2. 心に残る体験を重ねて、「カイキョーで暮らしたい」という想いを育む。

3. 体験を重ねていく人が、さらに体験を生み出す人になる。

- 全国的に人口が減少していく中で、まちの機能を維持・発展させていくためには、「ここで暮らしたい」と思える魅力を高め、伝えていくことが、ますます重要になっています。
- 下関にはたくさんの魅力がありますが、中でもこの海峡エリアは、関門海峡の素晴らしい景色をはじめとする自然や歴史、文化など、他にはない魅力的な素材であふれています。
- この「他にはない」海峡エリアの魅力を、「いつも側にある」身近なものにする。暮らしの中で、いつでもふらっと立ち寄って、遊んで、学んで、たたずんで、人と出会って…新たな刺激や活力がもらえる。そんな、振り返ると懐かしさを感じる、心に残る体験のできるエリアを目指します。
- 同時に、海峡エリアの魅力を、市外の方にも体験してもらい、広げていく。そうして生まれる「下関に行ってみたい」「いいまちだね」という印象が、「ここで暮らしてみたい」という想いにつながっていきます。
- この理想を実現するためには、事業者や行政が取り組むだけでは足りません。市民一人ひとりが主役になって、それぞれの「やりたいこと」を実現することから始まります。
- 行動する市民と事業者、行政がひとつのビジョン(方向性)を共有し、繋がることで、海峡のように大きな流れを生み、素晴らしい体験が生まれる。その体験が連なって、多くの人の思い出となって、最高の「カイキョー暮らし」がつむがれていく。全体ビジョン「**カイキョー暮らし。カイキョー、よってく?**」には、そんな思いが込められています。

## 3つのエリア(下関駅エリア、あるかぼーと・唐戸エリア、火の山・壇之浦エリア)

下関海峡エリアビジョンの策定にあたっては、エリアが広く、市民や観光客にとって異なるイメージを持たれていることから、下関駅エリア、あるかぼーと・唐戸エリア、火の山・壇之浦エリアの3つに分類しています。





A topographic map of the Shikokuchū Station area. The map shows a river on the left, a railway line, and various terrain features. A green rectangular box with a black border is centered on the map, containing the text 'II. 下関駅エリア'.

## II. 下関駅エリア

## 下関駅エリアの市民の声の整理

下関駅エリアにおける「好きなところ」・「足りないところ」・「あったらいいなと思うもの」・「市民自らやりたいこと」についての市民の皆様の声を整理しました。

### 好きなところ

- ・ 国際色の豊かさ
- ・ 交通の便の良さ
- ・ グリーンモール等のノスタルジーさ
- ・ 都市感と下町感のギャップ
- ・ 文化的景観・生活が垣間見える
- ・ 人工地盤の景観

### 足りないところ

- ・ 駅前の賑わい・観光感
- ・ 買い物できる場所などのコンテンツ
- ・ 駅から他のエリアへの導線、歩きたくなるストリート
- ・ くつろげる公共空間
- ・ 空き店舗等の活用ができていない
- ・ 人工地盤やグリーンモールなどの明るさ

### あったらいいなと思うもの

- ・ 観光客が特産品を買えるお店、カフェ、公共空間にキッチンカー
- ・ 看板・ガイド・わかりやすい観光案内所など導線の充実
- ・ シェアサイクル、キックボード、グリーンスローモビリティなど
- ・ 人工地盤やシーモール屋上などの芝生化や活用
- ・ 若者向け店舗（POPUPショップ等）の誘致
- ・ レトロな建物やお店に明かりを灯し、レトロな雰囲気ライトアップ
- ・ 相談できる環境、相談する人、街づくり団体を創設
- ・ 定期的なグルメフェスなどイベント
- ・ 大学生に安く市営住宅を貸し、SNSで良いところをPRしてもらう
- ・ ウォークブル・歩き回ることができる
- ・ 飲食、屋台（中洲のようなイメージ）、テラス席
- ・ 空き家・空き店舗の情報開示

### 市民自らやりたいこと

- ・ グリーンモールに韓国グルメやコスメティック専門店を誘致する仕組みづくり
- ・ 飲食スペースや子どもの遊び空間の設置
- ・ 駅前やシーモールのピロティ等を活用した井戸端会議
- ・ 大学生が居住、出店できる空き家や空き店舗等のリノベーション
- ・ 空き店舗・空きスペースを活用した「週末限定」「曜日限定」の期間限定店
- ・ SNSなどによる情報発信
- ・ 人がやりたいこと、チャレンジしたいことを応援・支援したい
- ・ 下関漁港と連携した物販施設
- ・ 人工地盤でヨガがやりたい

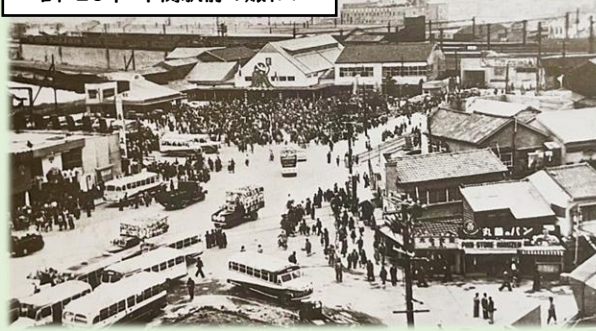
### まとめ

- ・ 下関駅エリアの文化特性には大いに好感をもちますが、コンテンツについては不足感を感じています。
- ・ 公共空間の活用やリノベーション等、主に既存の施設を幅広く活用した取組に対する意見が多く、取組の舞台となりうる期待があります。

# 下関駅エリアのこれまで

年代	出来事
昭和10年代	・現在地にJR下関駅が移転
昭和20年代	・空襲を逃れた竹崎町や豊前田町に、商店が集まる ・下関駅西口に大丸が開業
昭和50年代	・シーモール下関が開業し、西口の大丸が現在地に移転 ・下関駅周辺の都市改造事業として、買物公園通り(グリーンモール)を整備
平成初期	・人工地盤が完成
平成10年代	・細江地区再開発事業により人工地盤が延伸
平成20年代	・JR下関駅 駅ビルが開業 ・リピエ、ふくふくこども館、シネマコンプレックスが開業 ・バスターミナルが現在の形へ変更

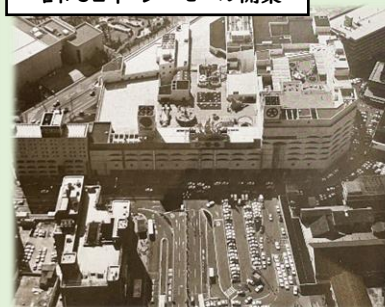
昭和26年：下関駅前の賑わい



昭和51年：グリーンモール開業



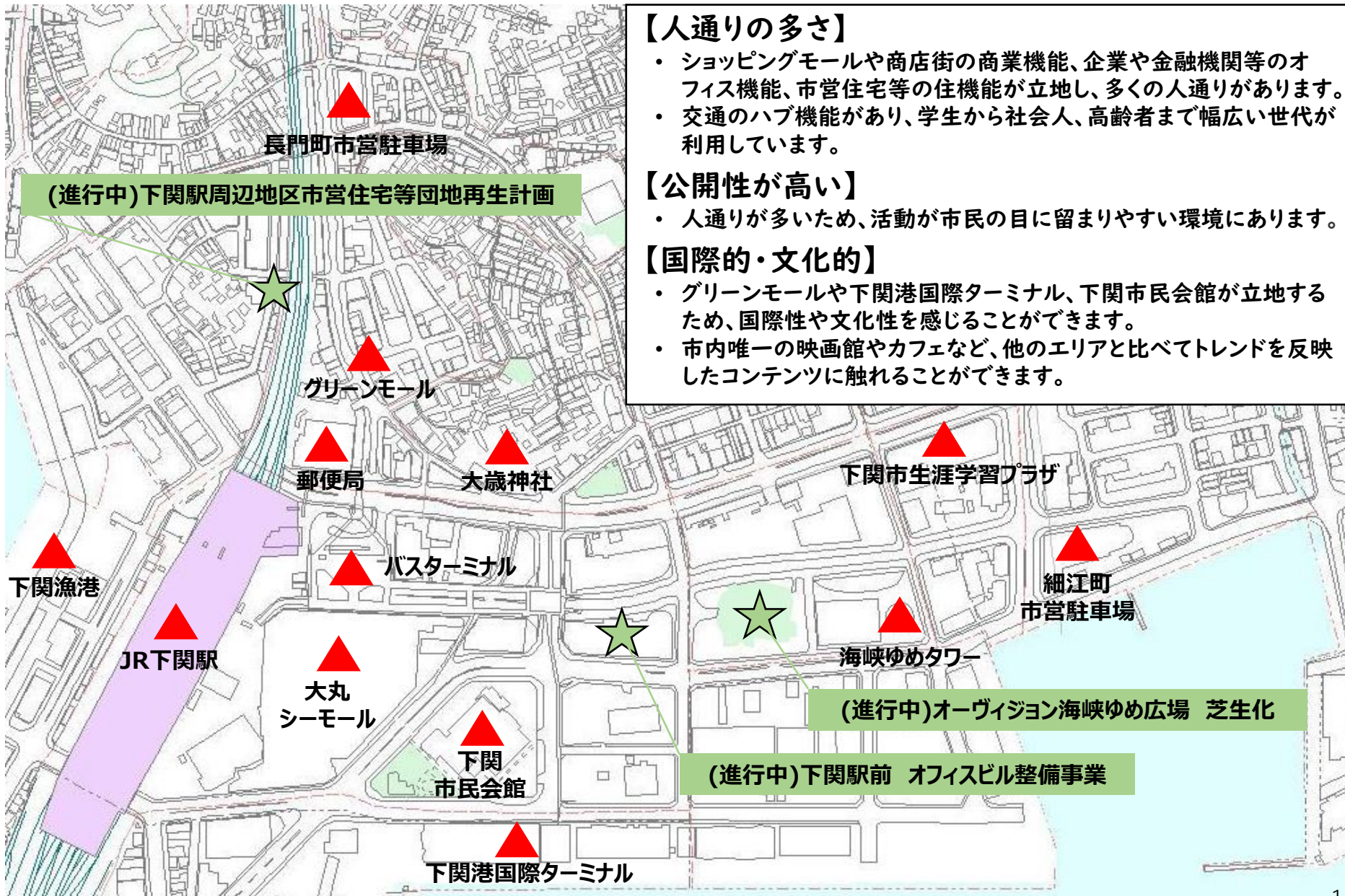
昭和52年：シーモール開業



平成6年：人工地盤完成



# 下関駅エリアの特徴(全体)



## 【人通りの多さ】

- ・ ショッピングモールや商店街の商業機能、企業や金融機関等のオフィス機能、市営住宅等の住機能が立地し、多くの人通りがあります。
- ・ 交通のハブ機能があり、学生から社会人、高齢者まで幅広い世代が利用しています。

## 【公開性が高い】

- ・ 人通りが多いため、活動が市民の目に留まりやすい環境にあります。

## 【国際的・文化的】

- ・ グリーンモールや下関港国際ターミナル、下関市民会館が立地するため、国際性や文化性を感じることができます。
- ・ 市内唯一の映画館やカフェなど、他のエリアと比べてトレンドを反映したコンテンツに触れることができます。

## 下関駅エリアの特徴(地点別)

### 【グリーンモール・茶山通り】

- 空き店舗や老朽化した建物が多い一方で、リノベーションによる新規出店も進んでいます。
- 韓国料理店や韓国食材を取扱う商店が並んでいます。
- 市営住宅の集約等が進む予定です。

### 【豊前田商店街周辺】

- 飲食店が多く立地しており、市内随一の繁華街です。
- 道路を使って、馬関テラス・ストリートが行われる等、公共空間を活用する取組も進んでいます。

### 【下関駅前】

- 交通の拠点であり、特に平日の朝・夕は多くの方が利用します。
- 駅前公共空間は社会実験やイベント開催等、市民活動の場として活用されています。
- シーモールや大丸にはテナントの新規出店が認められます。
- 映画、ファッション、カフェ等、トレンドに接する環境があります。

### 【海峡ゆめ広場周辺】

- オーヴィジョン海峡ゆめ広場は馬関まつりなどの大規模イベントが開催されており、今後芝生化される予定です。
- 海峡メッセでは、大規模会議や講演会などが開催され、市外からの来訪が多くあります。
- オフィスビルの建設が予定されており、居住人口及び交流人口の増加が見込まれます。

# 下関駅エリアのまちの分析

経済成長に伴って、交通機能や商業機能の中心地として多くの人通りがあった下関駅エリアは、市民にとっての「目的地」でしたが、時代の変化や魅力的な新しいコンテンツの不足により、素通りされる場所になっています。

原点

## 昭和からの中心地

- JR下関駅の移転により、人の流れが増え、市街地が開発
- 昭和初期から高度経済成長期までの商業機能の拡充・拡張

下関駅前の賑わい



グリーンモールで遊ぶ子どもたち



時代の変化

## 人通りの多さ

- まちに様々な機能があることで、人通りは多い
- 時代の流れとともに訪れる世代が多様化

## 市街地開発

- 大規模商業施設やまちに必要な施設を整備
- 多様な世代のニーズを満たす機能が拡充



## 建物老朽化

- 経年劣化により修繕が必要になる

## 空き地の不足

- 平地が少なく、開発可能な土地が少ない



## 新たなコンテンツ不足

- 古い店舗が廃業し、空き店舗が増える
- そのまま入れる店舗も新しく建物を建てる空き地が少ない

まちでの滞在時間が短い



お店が素通りされる



通勤・通学者の人通り



現在

## 素通りされる場所

- 拡大してきたまちの機能が、更新されずにそのまま残る
- コンテンツがないため目的地から通過する場所へと変化

とどまる場所がない

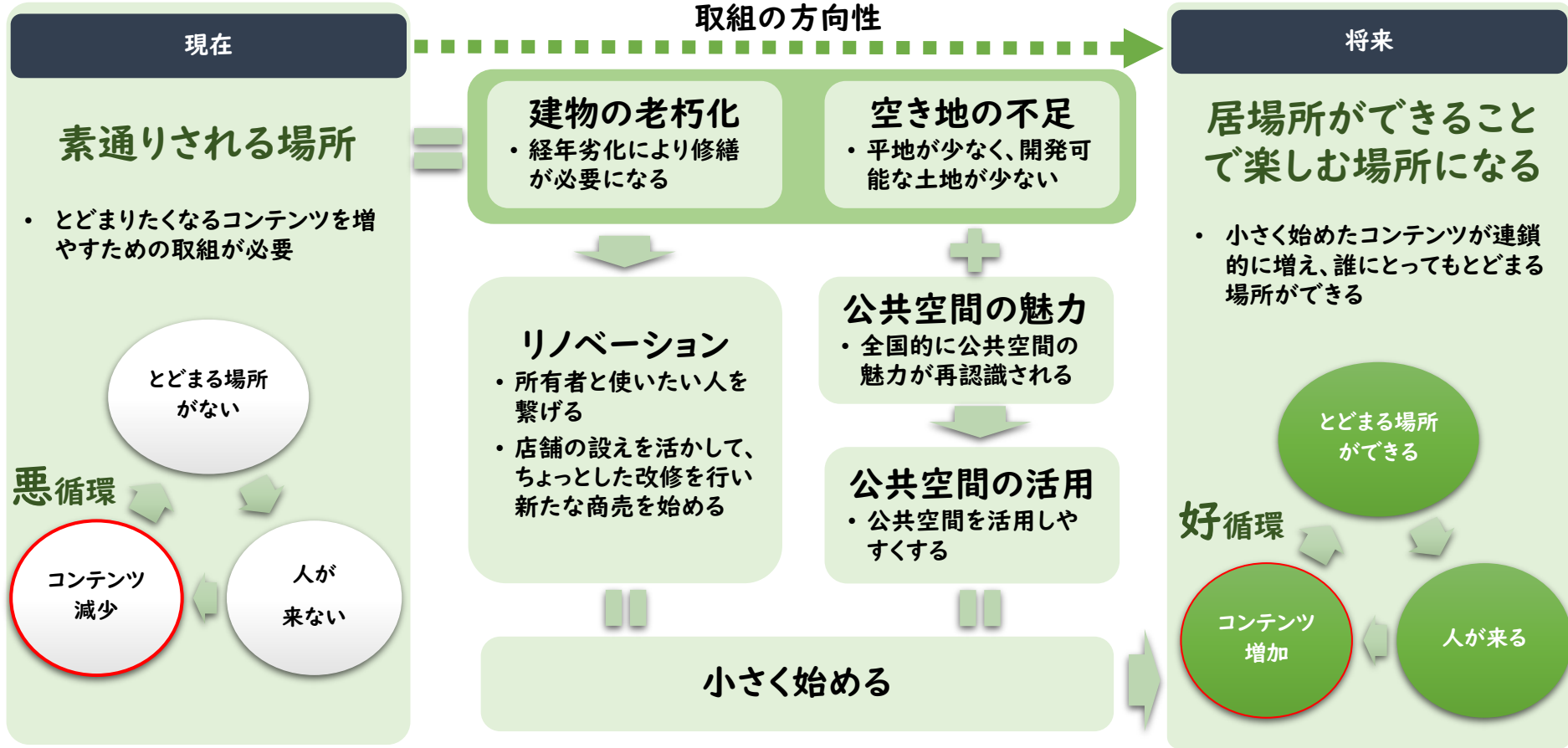
悪循環

コンテンツ減少

人が来ない

# 下関駅エリアにおける将来の方向性の検討

下関駅エリアのまちの変化に合わせて、新たなコンテンツを次々と生み出す取組が必要となり、まち全体が居場所となる魅力あるエリアを目指します。



下関駅  
エリア

小さな取組が集まって、まち全体が多世代の居場所になる  
**多世代ウォーカーブルエリア**

人工地盤の有効活用  
(テラスセキ、イベント開催)

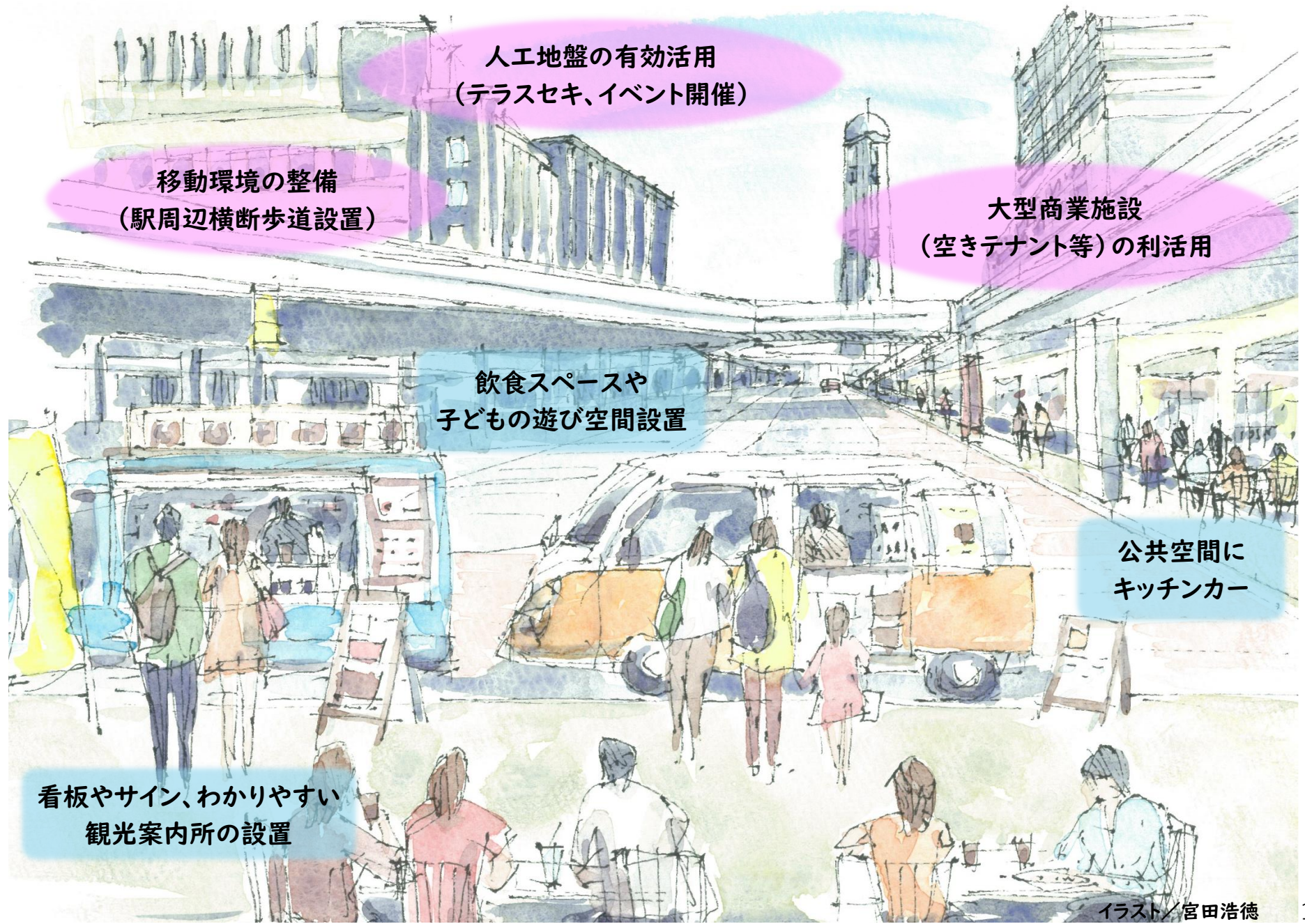
移動環境の整備  
(駅周辺横断歩道設置)

大型商業施設  
(空きテナント等)の利活用

飲食スペースや  
子どもの遊び空間設置

公共空間に  
キッチンカー

看板やサイン、わかりやすい  
観光案内所の設置





韓国グルメ  
コスメティック専門店

若者向け店舗  
(POPUPショップ等)

レトロな雰囲気  
の  
ライトアップ

下関漁港と連携した物販施設

空き家・空き店舗の  
情報開示

公共空間活用  
(テラス営業・ほこみち)

市営住宅等の  
団地再生計画

イベントの集中的開催  
(フードイベント等)

駅前オフィスビル整備

シェアサイクル、キックボード、  
グリーンスローモビリティなど

イベントの集中的な開催  
(フードフェス等)

まちなかウォークブルの推進

サテライトオフィスの誘致

オーヴィジョン海峡ゆめ広場  
芝生化  
(Park-PFIの活用)



古い街並みを活かした  
リノベーション

大学生が居住、出店するための  
空き家・空き店舗のリノベーション等

ライトアップ

公共空間活用  
(テラス営業)




空き店舗のリノベーション

テラス席・屋台

公共空間の活用  
(テラス営業・ほこみち)

まちなかウォークブルの推進

A topographic map showing a coastal area with a river on the left and a large body of water on the right. The map features contour lines, roads, and buildings. A large, semi-transparent brown oval highlights a specific area in the lower right quadrant, near the coast. A central orange box contains the title text.

### Ⅲ.あるかぽーと・唐戸エリア

# あるかぼーと・唐戸エリアの市民の声の整理

あるかぼーと・唐戸エリアにおける「好きなところ」・「足りないところ」・「あったらいいなと思うもの」・「自らやりたいこと」についての市民の皆様の声を整理しました。

## 好きなところ

- ・ 海峡の眺め、船舶が間近に見られる
- ・ 門司との連絡船
- ・ 観覧車、海響館、唐戸市場、亀山八幡宮、赤間神宮など
- ・ アンコウ、明太子など下関発祥の食
- ・ デザイン性の高い雑貨
- ・ パノラマビュー

## 足りないところ

- ・ 一体的な開発、周遊性のある動線
- ・ 統一したデザインコンセプト
- ・ 若者が楽しめるコンテンツ
- ・ 建物の個性や印象
- ・ 門司との連携
- ・ 空き店舗の活用、商店街のにぎわい

## あったらいいなと思うもの

- ・ 子ども向けアクティビティ・大型遊具(パルクール・ボルダリング等)
- ・ 若者向けのスポーツが楽しめる施設(バスケットボール・フットサル・テニス・スケートボード・ブレイブボード等)、子どもが遊んで学べる施設
- ・ 市民中心の憩いの場(ステージ、イベント広場)
- ・ 釣りデッキ、釣り堀、レンタル釣具、釣りスポット整備
- ・ ドッグラン、ウォーキング・ランニングステーションの整備
- ・ グランピング施設、キャンプ場整備、ログハウス
- ・ 新交通システムのステーション、電動キックボード、新しい船の航路
- ・ 船溜まりの利活用(海上アスレチック)
- ・ 潮入池等の利活用(ドクターフィッシュ・イルカタッチングプール)
- ・ 通りのライトアップ、キャンドルナイト
- ・ 海が見えるところにブランコ、大道芸人やストリートミュージック
- ・ 倉庫、やまぎん史料館、旧秋田商会ビルなどを活用
- ・ ドリフト(漂流物)アート
- ・ 決闘の聖地として対戦型コンテンツ
- ・ キッチンカー

## 市民自らやりたいこと

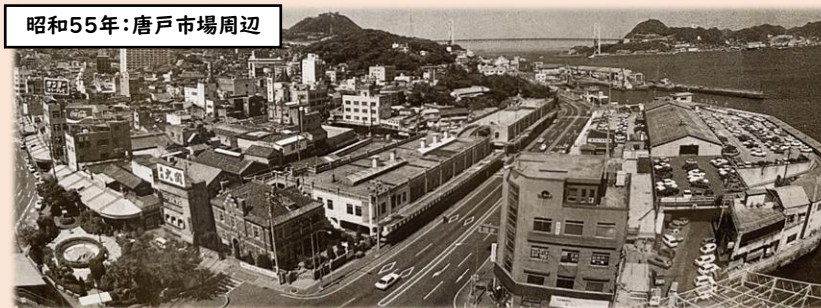
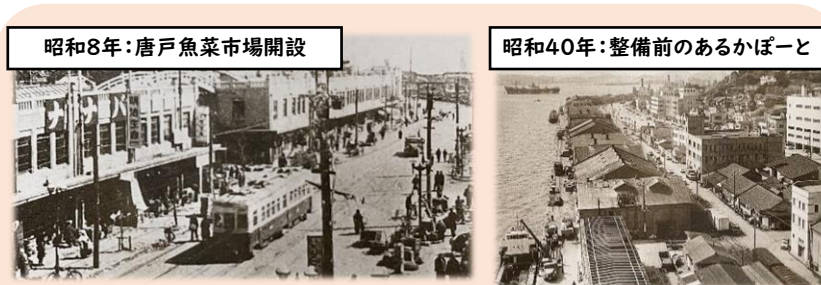
- ・ フォト・ビュースポット設置、案内板設置、パノラマビュースポット発掘
- ・ 市民の日常に文化的な価値を流し込んでいけるような取組
- ・ 空き施設等を活用し、高校生に水産業やカフェ体験を通し、経営を学ぶことによって私立高校の単位を認定する仕組みづくり
- ・ あるかぼーとの空き地を芝生公園にし、アート作品を展示
- ・ あるかぼーとの一部をレンガ通りにし、レンガの購入者は氏名を刻むことができるといった企画
- ・ 唐戸市場外に飲食スペースの設置やキッチンカーでの出店
- ・ 唐戸市場屋上と姉妹都市広場の利活用
- ・ 市民広場の定期的な利用
- ・ 海峡の景色を眺めながら朝ごはん会、音楽フェス
- ・ やまぎん史料館を使ってカフェ、歴史的建造物の活用(カフェ、宿泊)
- ・ 船島神社の再建
- ・ 巖流島でデイキャンプ・キャンプ、定期的な釣りイベント開催
- ・ 空き店舗のリノベーション

## まとめ

- ・ 海峡の眺望など、今あるものに対しての評価が高いと同時に、今あるものをもっと活かした取組や活動が期待されています。
- ・ 今ないものに対しての期待感や希望も強く、更なる魅力向上へのポテンシャルが高いと言えます。

# あるかぼーと・唐戸エリアのこれまで

年代	出来事
昭和初期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「下関市唐戸魚菜市场」として現在の唐戸市場が開設し、青果部、バナナ部、鮮魚部、雑部の4部が設置</li> </ul>
昭和40年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鮮魚部のフク部門が彦島の南風泊へ移転</li> </ul>
昭和50年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青果部が勝山へ移転</li> </ul>
昭和60年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下関港東港区ポートルネッサンス21計画</li> <li>・あるかぼーと下関・唐戸水際活性化計画</li> <li>※あるかぼーとの由来…「アルカディア(理想郷)」と「ポート(港)」を組み合わせた造語</li> </ul>
平成初期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーターフロント活性化に資する土地利用として、旅客船専用岸壁や緑地、交流拠点用地を位置づけ、埋立</li> </ul>
平成10年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下関市立しものせき水族館(愛称:海響館)が開業</li> <li>・唐戸市場が現在の位置へ移転</li> </ul>
平成20年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海響館の西側に短期計画に基づいて飲食店を誘致</li> <li>・はい!からっと横丁が開業</li> </ul>
平成30年代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下関港ウォーターフロント開発に関する全体コンセプトをまとめ、A地区からE地区までの5つのエリアに整理</li> <li>・B地区に星野リゾートの進出が決定</li> </ul>







# あるかぼーと・唐戸エリアの特徴(地点別)

## 【A地区周辺】

- ・「はい!からっと横丁」は下関市中心部の夜景のシンボルの一つになっている観覧車もありますが、借地期限が到来する予定です。

## 【B地区周辺】

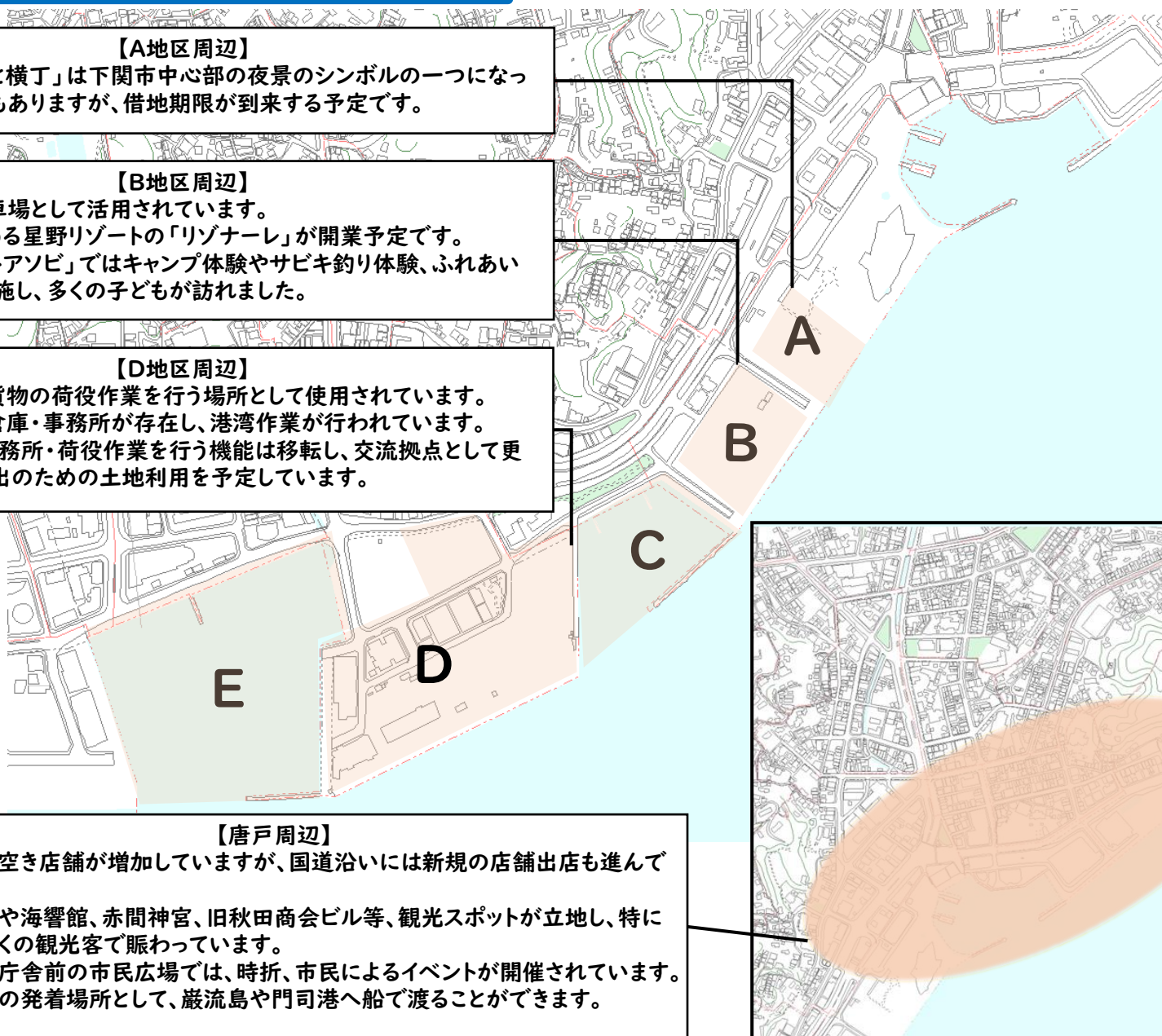
- ・芝生広場、駐車場として活用されています。
- ・子どもも楽しめる星野リゾートの「リゾナーレ」が開業予定です。
- ・「カイキョートアソビ」ではキャンプ体験やサビキ釣り体験、ふれあい動物園等を実施し、多くの子どもが訪れました。

## 【D地区周辺】

- ・敷地東側は、貨物の荷役作業を行う場所として使用されています。
- ・敷地西側は、倉庫・事務所が存在し、港湾作業が行われています。
- ・今後、倉庫・事務所・荷役作業を行う機能は移転し、交流拠点となる賑わい創出のための土地利用を予定しています。

## 【唐戸周辺】

- ・商店街は空き店舗が増加していますが、国道沿いには新規の店舗出店も進んでいます。
- ・唐戸市場や海響館、赤間神宮、旧秋田商会ビル等、観光スポットが立地し、特に休日は多くの観光客で賑わっています。
- ・市役所本庁舎前の市民広場では、時折、市民によるイベントが開催されています。
- ・関門汽船の発着場所として、巖流島や門司港へ船で渡ることができます。



# あるかぽーと・唐戸エリアのまちの分析

下関海峡エリアの象徴であり、高いポテンシャルを活かして、強力な観光地になった一方で、その期待に対して現状とのギャップがあります。

## 原点

### 下関の象徴

- 下関の「顔」として、市内外の人を持つ「下関」のイメージとなっている

あるかぽーと下関・唐戸水際線活性化計画



下関港ウォーターフロント開発に関する全体コンセプト



Water Front Reborn

(5~10年後のイメージ)

## 時代の変化

**高いポテンシャル**

- 海峡を眼下に望む絶景
- 歴史的にまちの中心地

**開発の計画**

- 物流の拠点から観光の拠点へと転換

### 強力な観光地

海響館

唐戸市場

カモンワーフ

**「アルカディア(理想郷)」としての高い期待**

- 複合的な機能を持ち、人が集い留まる場所となる
- エリアの面的・一体的な開発を計画してきた

あるか ぽーと

名前の由来は…

アルカディア (理想郷)      ポート (港)

## 現在

### 高い期待や理想と現状のギャップ

- 面的・一体的な開発が実現しておらず、広大な低利用地が残る
- コンテンツの連携が不十分で、単発・日帰りの観光地となる

理想郷

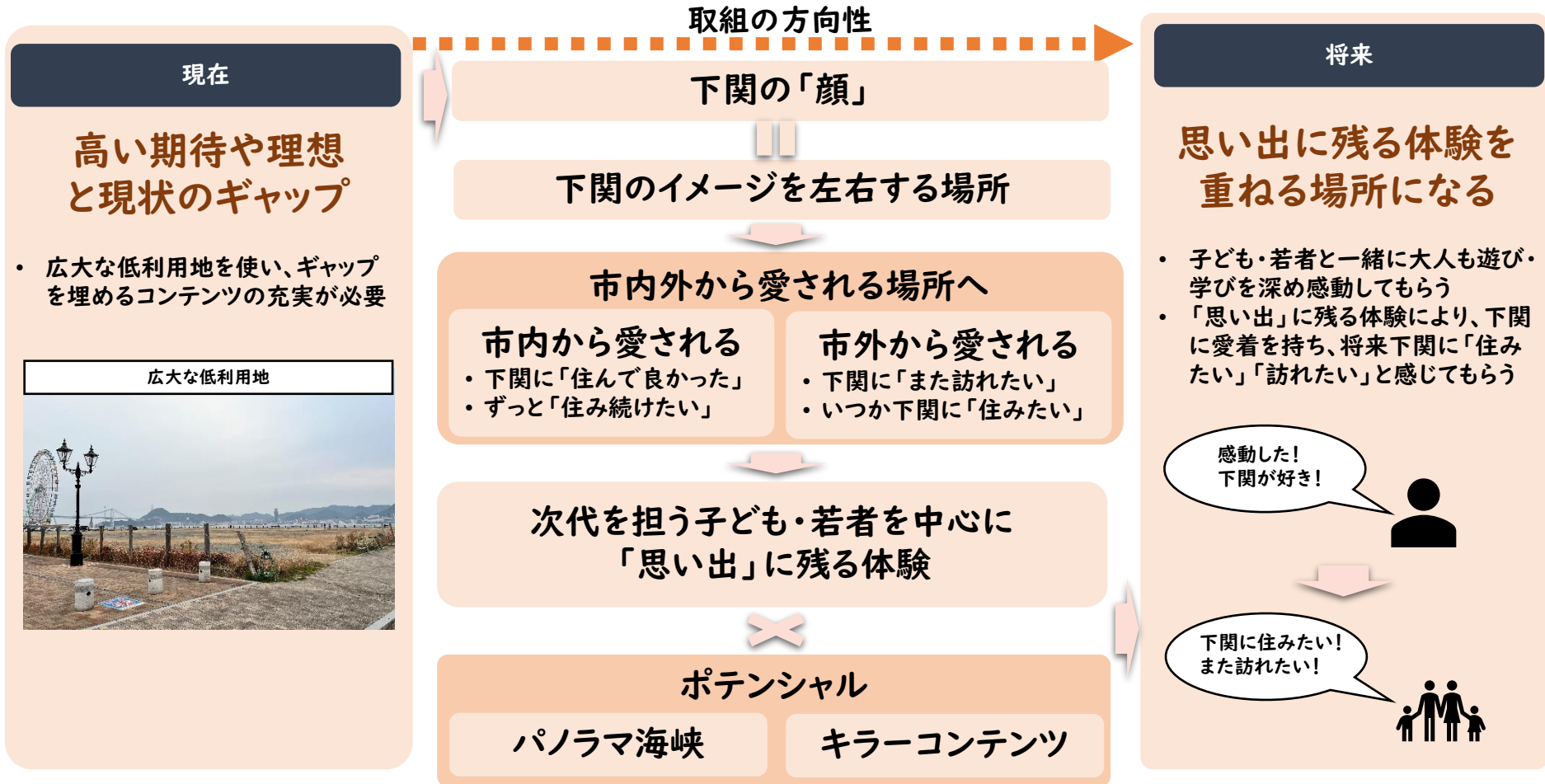


広大な低利用地



# あるかぼーと・唐戸エリアにおける将来の方向性の検討

現状のギャップを埋めるため、次代を担う子どもや若者を中心とした「思い出」に残るコンテンツの充実を図ります。大人になっても下関に住みたい・また訪れたいと思うひとが増えるまちづくりを目指します。



あるかぼーと・唐戸エリア

次代を担う子ども・若者を中心に憩い・遊び・学びがあふれる場

## 未来アソビマナビエリア

釣りデッキや  
釣り堀

若者向けのスポーツ  
が楽しめる施設  
(バスケット・フットサル・  
テニス・スケボー等)

市民も観光客も歩いて楽しめる  
「にぎわい通り」の整備

子どもが遊んで  
学べる施設

グランピング施設、  
キャンプ

市民も観光客も歩いて楽しめる  
「にぎわい通り」の整備

新交通システムの  
ステーション

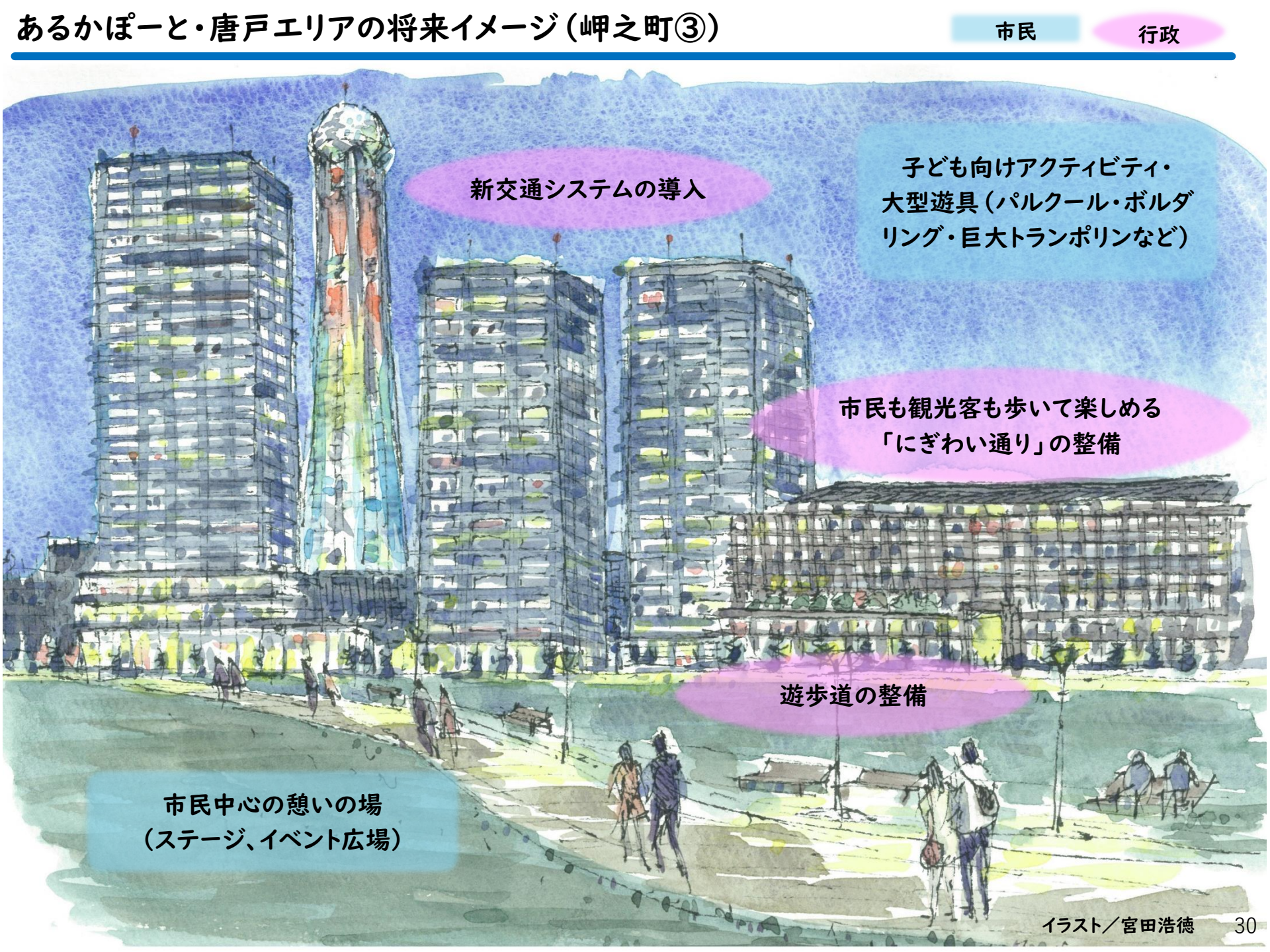
パノラマビュー

港湾倉庫の  
リノベーション

ウォーキング・  
ランニングステーション整備

遊歩道の整備

統一したデザイン  
コンセプト



新交通システムの導入

子ども向けアクティビティ・  
大型遊具(パルクール・ボルダ  
リング・巨大トランポリンなど)

市民も観光客も歩いて楽しめる  
「にぎわい通り」の整備

遊歩道の整備

市民中心の憩いの場  
(ステージ、イベント広場)

海響館リニューアル

フォト・ビュー  
スポットの設置

子育て世代、子ども向け、  
開放型、体験型の  
アクティビティ

船溜まりの利活用  
(海上アスレチック)

潮入池等の利活用  
(ドクターフィッシュ・  
イルカタッチングプール)

ドリフト(漂着物)アート

電動キックボード

船島神社の再建

定期的な  
釣りイベントの開催

新しい船の航路

デイキャンプ、キャンプ

グランピング施設  
ログハウス

決闘の聖地として対戦型コンテンツ





唐戸市場屋上と  
姉妹都市広場の利活用

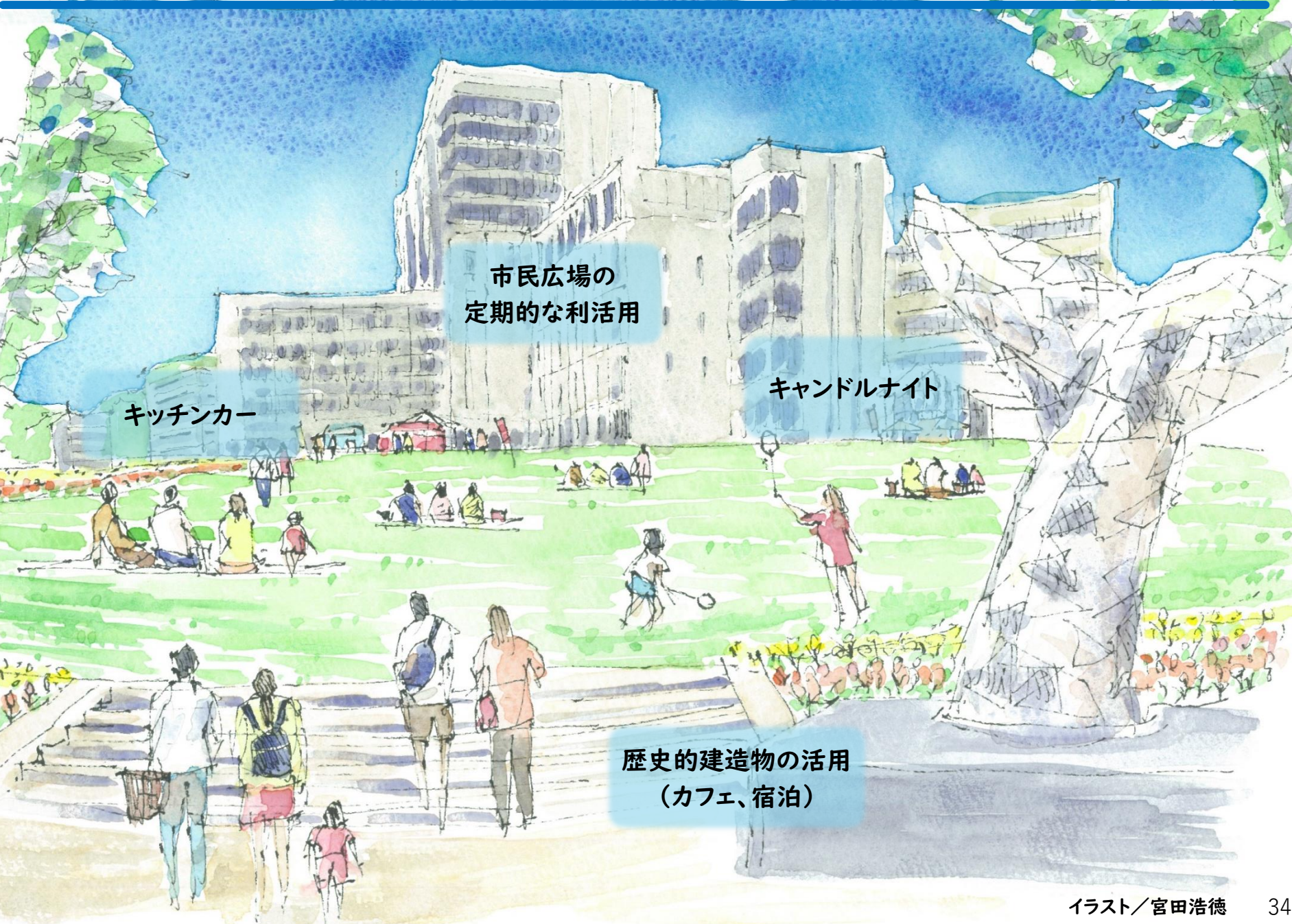
音楽フェス

海が見えるところにブランコ

海峡の景色を見ながらの朝ごはん会

大道芸人や  
ストリートミュージック

唐戸市場外に飲食スペースの設置や  
キッチンカーでの出店



市民広場の  
定期的な利活用

キッチンカー

キャンドルナイト

歴史的建造物の活用  
(カフェ、宿泊)

唐戸公園イルミネーション  
イベント実施

空き店舗のリノベーション

まちなかウォークブルの推進

公共空間の活用  
(テラス営業・ほこみち)

通りのライトアップ



## IV.火の山・壇之浦エリア

# 火の山・壇之浦エリアの市民の声の整理

火の山・壇之浦エリアにおける「好きなところ」・「足りないところ」・「あったらいいなと思うもの」・「自らやりたいこと」についての市民の皆様の声を整理しました。

## 好きなところ

- ・ 山頂からの眺め
- ・ 歴史の舞台、歴史的景観
- ・ 船小屋の光景
- ・ 豊かな自然
- ・ 巨大タンカーの海峡を通る姿

## 足りないところ

- ・ 自然を活かしたコンテンツ
- ・ 唐戸から火の山までのコンテンツ
- ・ 歩道、サイクルロード、駐車場
- ・ 他エリアからの導線やアクセス
- ・ 門司港をつなぐインフラ
- ・ 既存施設の活用

## あったらいいなと思うもの

- ・ グランピング、キャンプ、温泉ホテル、ツリーハウス、ジップライン、ドッグラン、テラス、バーチャル釣り体験、日本酒パーティー、音楽フェス、コンサート会場、要塞カフェ、砲台跡でのイベントやバー、キッチンカー、フォレストアドベンチャー、ネイチャーゲーム
- ・ 山頂から山麓まで滑り降りられる滑り台、四季の花畑、植物園
- ・ 要塞跡でライトアップやカフェ、イベント、バー
- ・ 国際航路の活用、巨大タンカー船を解説する専門家ガイド
- ・ ロープウェー乗り場と人道入口の連動
- ・ ボードウォークを唐戸エリアから伸ばす
- ・ ランニングやサイクリングができる場所、サイクルポート
- ・ 新しい船の航路、海上タクシー、水上宿泊、船上レストラン、船上美術館
- ・ 海峡の歴史コンテンツの拡充
- ・ 人道トンネルのアミューズメント化

## 市民自らやりたいこと

- ・ パークパーティーやビアガーデン、日本酒パーティー開催
- ・ 海峡メガジップラインの設置
- ・ ツリーハウスの整備
- ・ 火の山の要塞跡地でグランピング
- ・ 火の山の山頂で飲食店を出店
- ・ キッチンカーや飲食が集まるフードフェス
- ・ 要塞跡地を利用したゾンビイベント
- ・ SNSで魅力を発信
- ・ 舟屋のリノベーション

## まとめ

- ・ 山や海を近くに感じることができる豊かな自然や眺望を魅力と感じています。
- ・ 魅力を体感できる体験型コンテンツやアクティビティが不足していることに対する充実を求める声があります。

# 火の山・壇之浦エリアのこれまで

年代

出来事

**昭和初期** ・山頂に砲台が置かれ「下関要塞」としての利用が続き、昭和23年まで一般人の入山は規制

**昭和20年代** ・火の山公園が都市計画公園に決定され公園整備が進む

**昭和30年代** ・火の山ロープウェイが開業  
・関門トンネル人道が開通  
・みもすそ川公園を整備

**昭和40年代** ・火の山展望台が開業  
・火の山パークウェイが開業

**昭和50年代** ・冒険の森が開園（平成9年閉園）

**平成10年代** ・観光客の減少や施設老朽化により、ロープウェイが運休  
・ロープウェイが実証実験の位置づけで平成17年に営業再開（令和4年現在は3月から11月までの期間限定で運行）

**平成20年代** ・壇ノ浦コーストが高潮対策として整備  
・火の山展望台が閉鎖

昭和40年代：火の山展望台



火の山公園からの景観



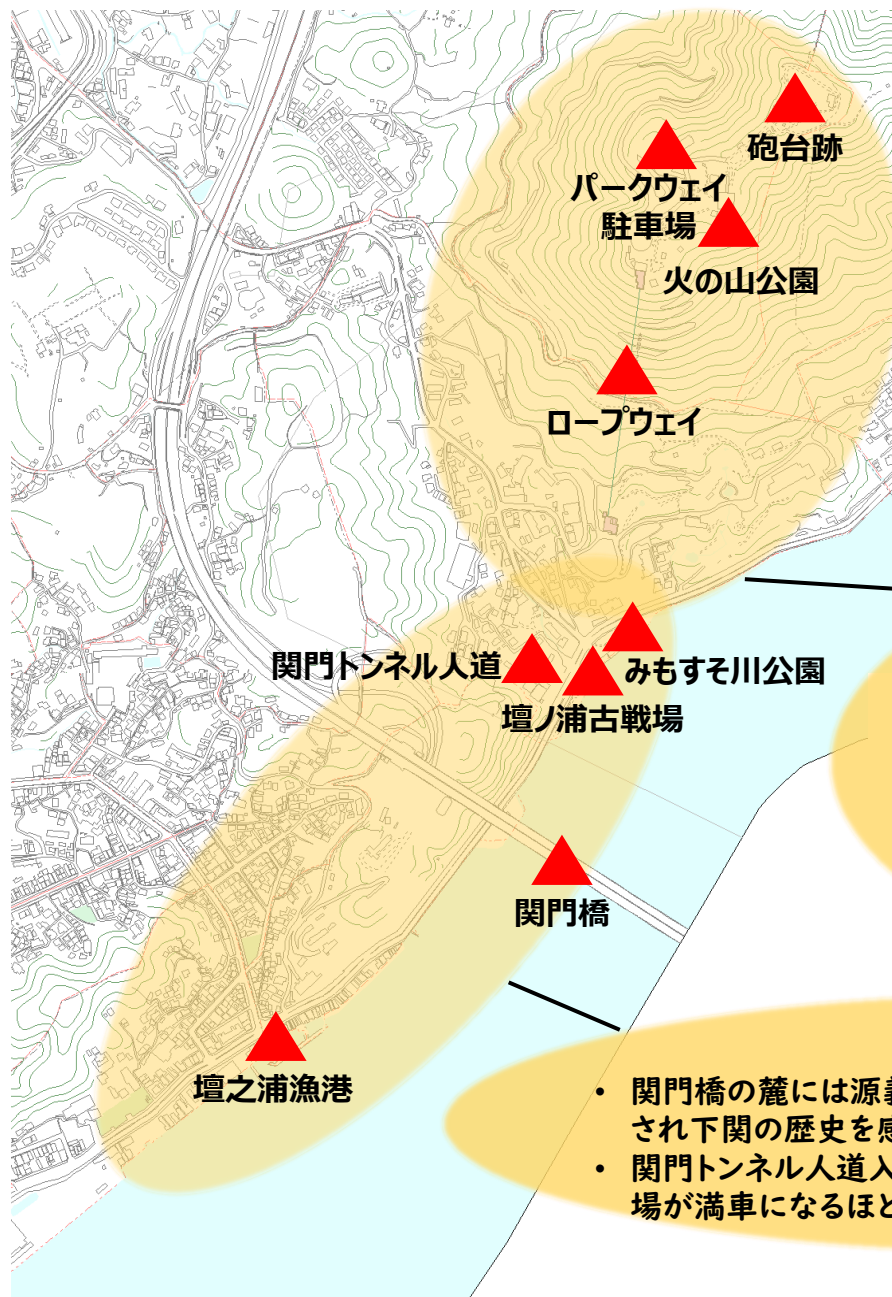
人道



火の山公園の桜



# 火の山・壇之浦エリアの特徴(全体・地点別)



## 【ダイナミックな海峡】

- ・ 火の山山頂や壇ノ浦コースト、みもすそ川公園からは海峡の景観や国際船が航行する姿をダイナミックに感じることができます。

## 【豊かな自然】

- ・ 3エリアの中でも森や原っぱなどの豊かな自然があります。

## 【豊かな歴史】

- ・ 戦争で使用された要塞跡等が残る歴史に恵まれたエリアです。

## 【再生の機運】

- ・ 火の山地区観光施設再編整備基本構想の策定やカイキョートアソビの実施などにより新たな取組がはじまりつつあります。

## 【火の山】

- ・ 山頂からは瀬戸内海と日本海が一望でき、公園からの夜景は日本夜景遺産にも認定されています。
- ・ 山頂には、防空壕、砲台跡、弾薬庫跡など、戦争の歴史を感じさせる施設があります。
- ・ 山麓にはトルコチューリップ園「オルハン・スヨルジュ記念園」や山麓公園等があり、豊かな自然があります。
- ・ 山頂に登る手段は、ロープウェイ、車、徒歩があります。

## 【壇之浦周辺】

- ・ 関門橋の麓には源義経と平知盛のモニュメントや大砲の模型が設置され下関の歴史を感じることができます。
- ・ 関門トンネル人道入口付近の施設には飲食店が出店し、休日は駐車場が満車になるほど観光客が訪れます。

# 火の山・壇之浦エリアのまちの分析

豊かな自然や眺望を活かして観光地として開発されてきましたが、老朽化による施設の廃止や、コンテンツの不足等によって訪れる目的が低下しています。

## 原点

### 豊かな自然や眺望を活かした観光地開発

- ・ 戦時中に活用された拠点を観光地として開発
- ・ 豊かな自然や海峡からの眺望の魅力を活かしてきた

賑わう火の山展望台



整備された火の山・みもすそ川町



## 時代の変化

### 整備された施設

- ・ ロープウェイ
- ・ 展望台
- ・ アスレチック

### 老朽化した施設

- ・ 維持管理費の高騰
- ・ 高額な改修費用

### 豊かな歴史

- ・ 壇ノ浦の戦い等、歴史の転換点の舞台
- ・ 砲台や防空壕などは戦時に利用された

### 観光コンテンツ化

- ・ 歴史的なモニュメントは観光の目的地となる

一方で...

### 魅せ方の進歩

- ・ VRなど、観光コンテンツの見せ方は技術と共に進歩

長州砲



義経・知盛像



## 現在

### 訪れる目的性の低下

- ・ 豊かな自然や眺望はこれまでと変わらず魅力的
- ・ 老朽化した施設の廃止やコンテンツ不足により来訪者減少

- ・ 老朽化した施設
- ・ コンテンツ不足

行くと楽しいけど...



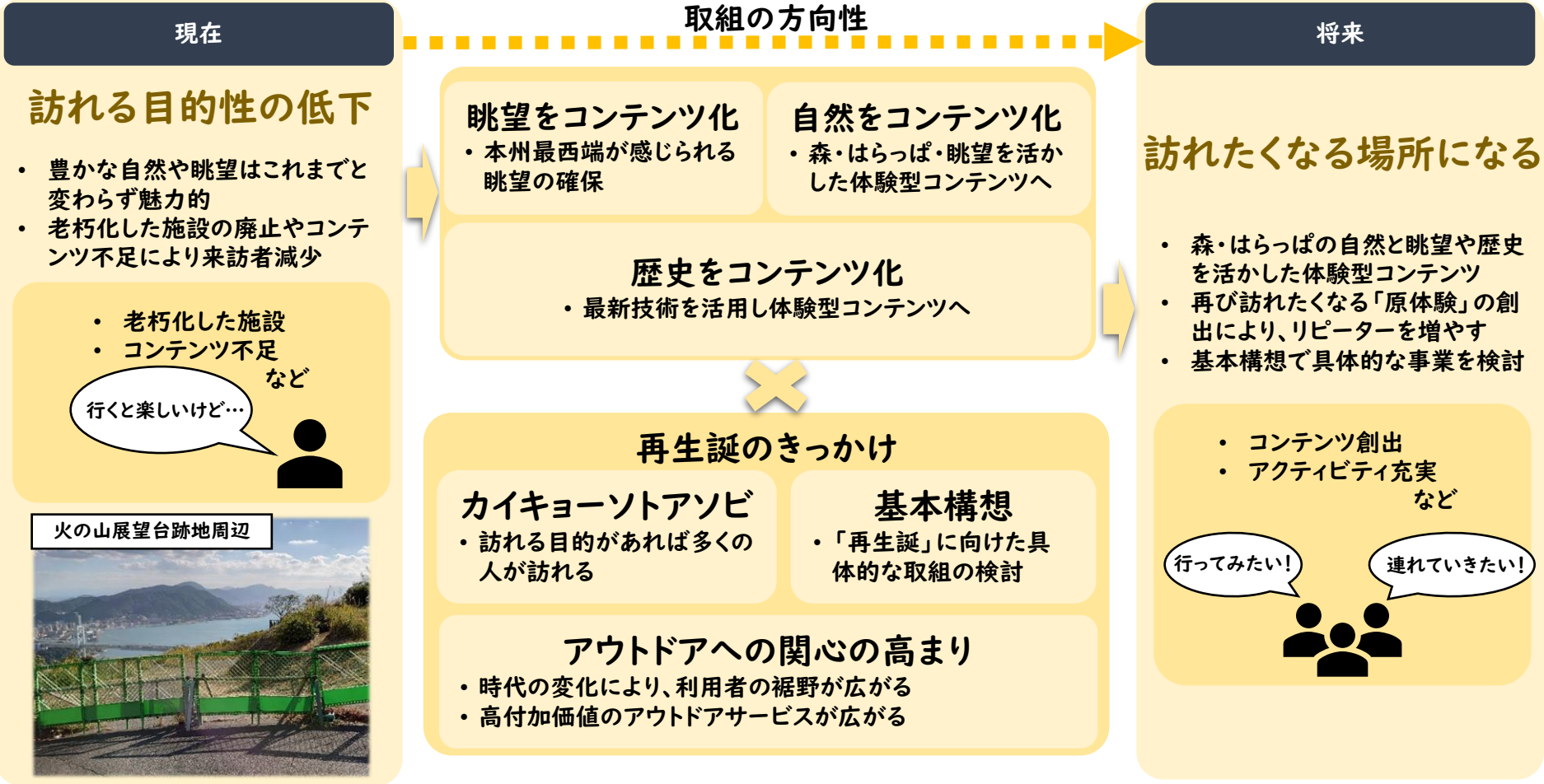
火の山展望台跡地周辺





# 火の山・壇之浦エリアにおける将来の方向性の検討

訪れたい場所とするため、基本構想等とも連携し、自然と歴史を活かしたコンテンツを創出していくことによって訪れる目的を創っていく必要があると言えます。



火の山・壇之浦  
エリア

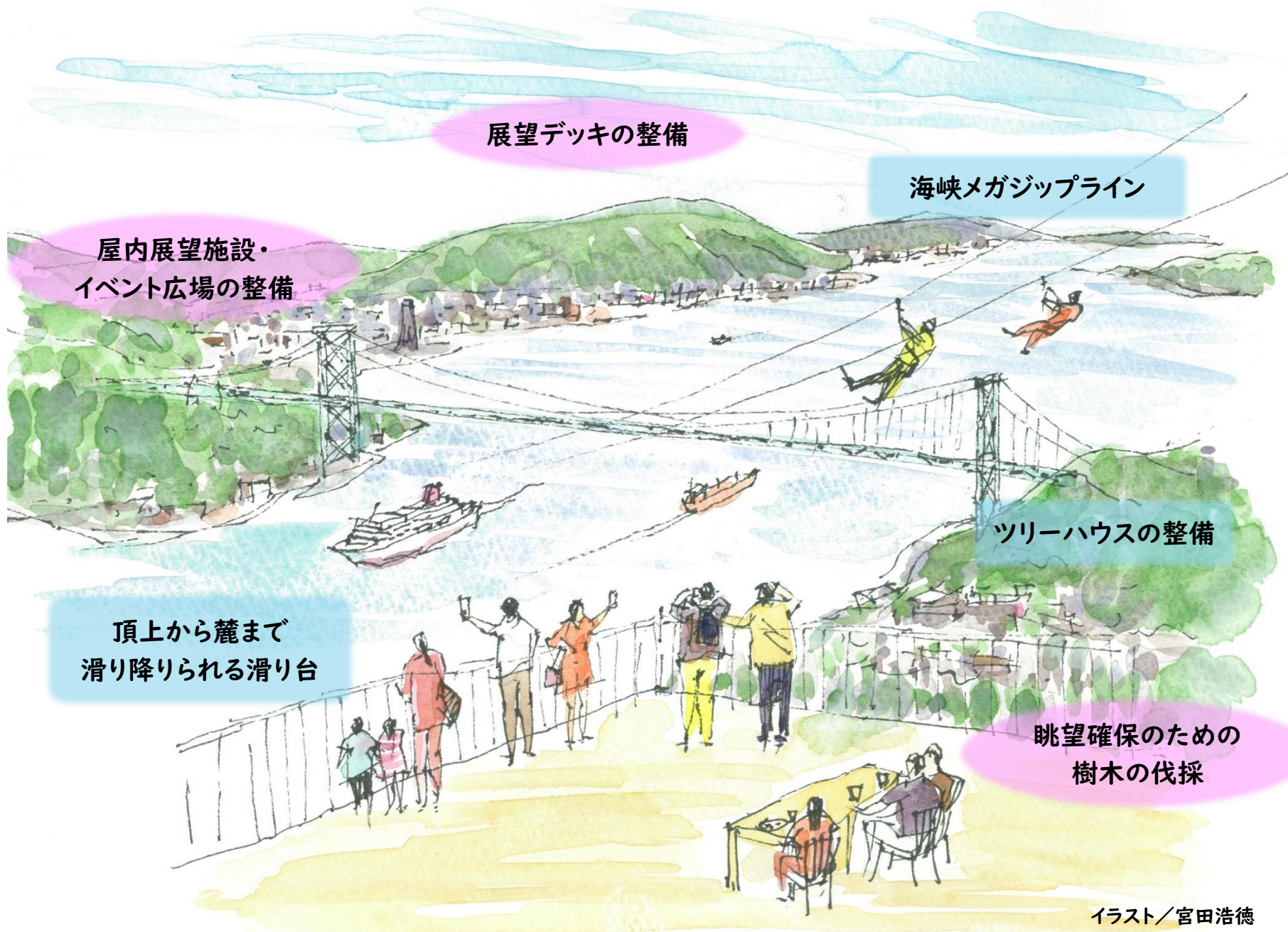
火の山の自然と眺望、壇之浦の歴史を楽しむ、光の山  
山海空アドベンチャーエリア

# 光の山プロジェクトイメージパース

光の山プロジェクト  
- 火の山地区観光施設再編整備事業 -



注) このパースはイメージであり、実際の意匠・縮尺とは異なります。



展望デッキの整備

海峡メガジップライン

屋内展望施設・  
イベント広場の整備

ツリーハウスの整備

頂上から麓まで  
滑り降りられる滑り台

眺望確保のための  
樹木の伐採

アスレチックの整備

要塞跡でライトアップ  
カフェ、イベント、バー

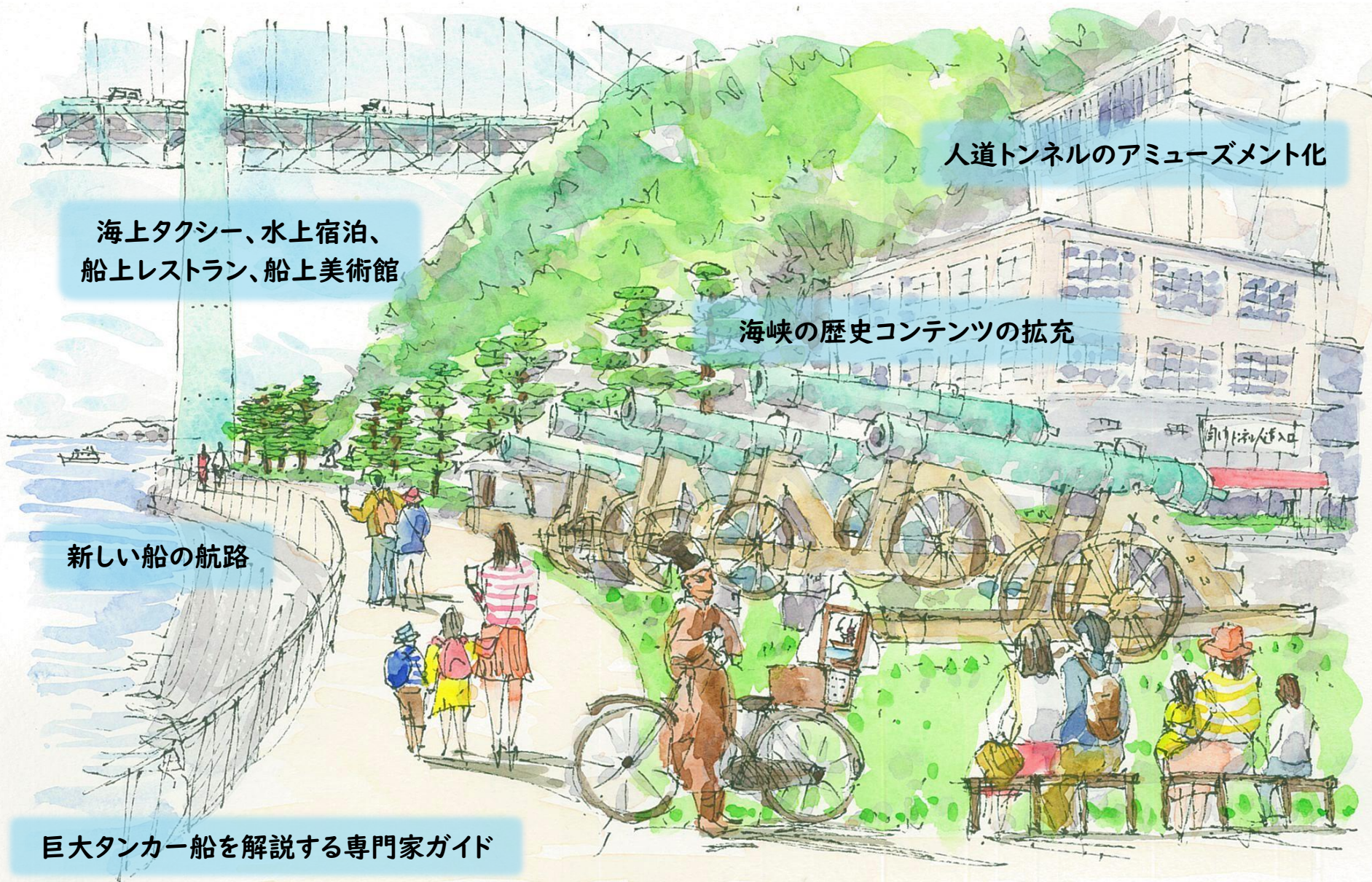
キッチンカーや飲食が  
集まるフードフェス

四季の花畑、植物園

要塞跡地を利用したゾンビイベント

ネイチャーゲーム

キャンプ、グランピング



人道トンネルのエンターテインメント化

海上タクシー、水上宿泊、  
船上レストラン、船上美術館

海峡の歴史コンテンツの拡充

新しい船の航路

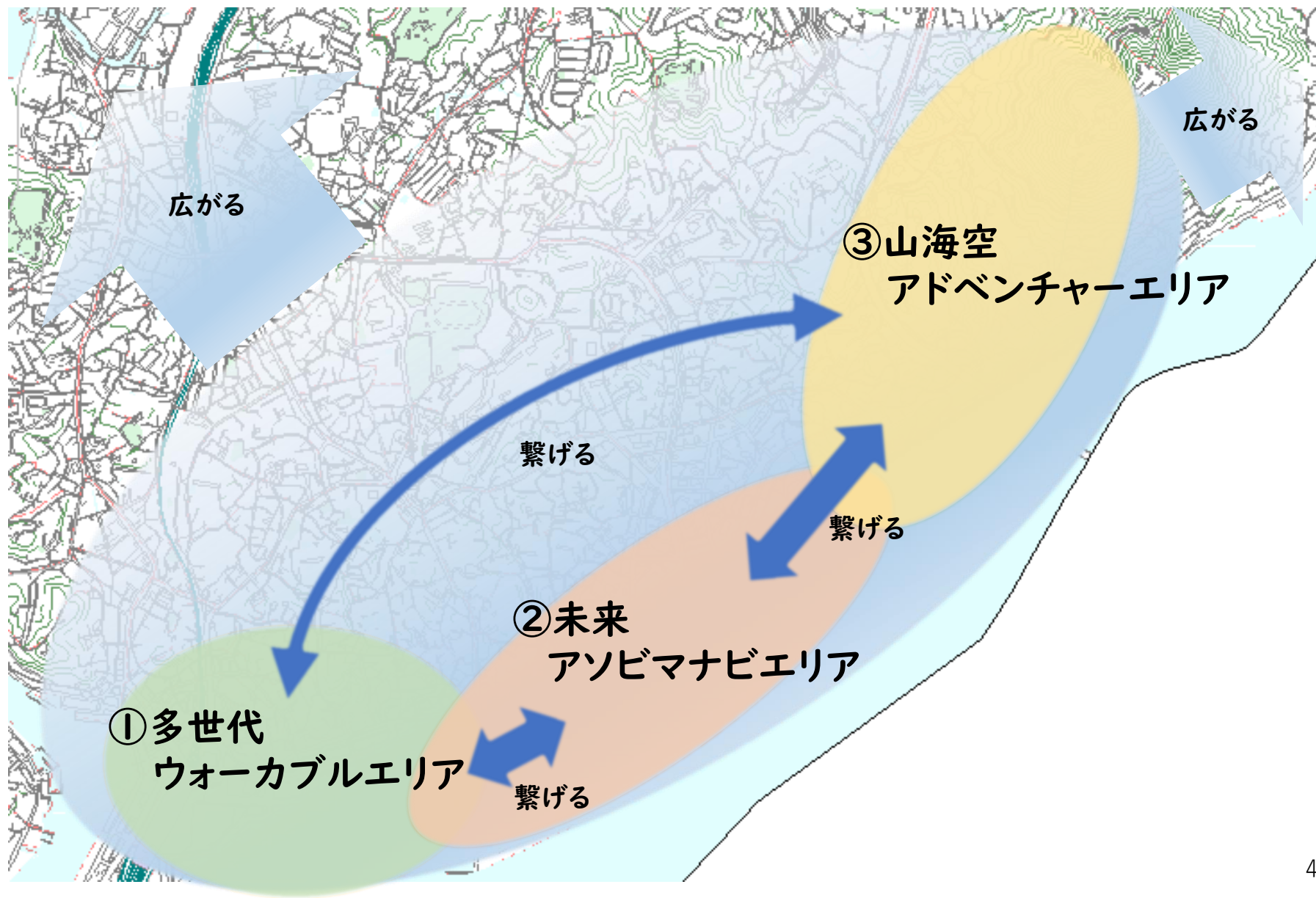
巨大タンカー船を解説する専門家ガイド

A topographic map showing a city area with a river and various terrain features. Overlaid on the map are several large, semi-transparent colored shapes: a yellow oval in the upper right, a blue oval in the lower left, and a large light blue shape that encompasses the central and right portions of the map. A white rectangular box with a black border is centered over the map, containing the text 'V.繋げる・広がる'.

**V.繋げる・広がる**

# 繋げる・広がる

3つのエリアを繋げることにより下関海峡エリアのにぎわいが連鎖し、国道9号以北や長府等のエリアへも波及する効果が期待できます。



## エリアを繋げる

3つのエリアを繋げて回遊性を向上させるため、「新モビリティの検討」、「ウォークブルの推進」、「情報の連携」を行い、さらに魅力あふれるまちを目指します。

現在

3つのエリアが単発・日帰りの場所になっている

### 繋げる取組

・エリアを繋げるためには、来訪者を他のエリアへ向かわせる仕掛けや動機付けが必要

#### 新モビリティの検討

- ・船やキックボード等、新たな移動手段により移動自体を楽しくする

#### ウォークブルの推進

- ・隣のエリアと繋がるように連続的なコンテンツ配置で歩いて楽しい動線をつくる

#### 情報の連携

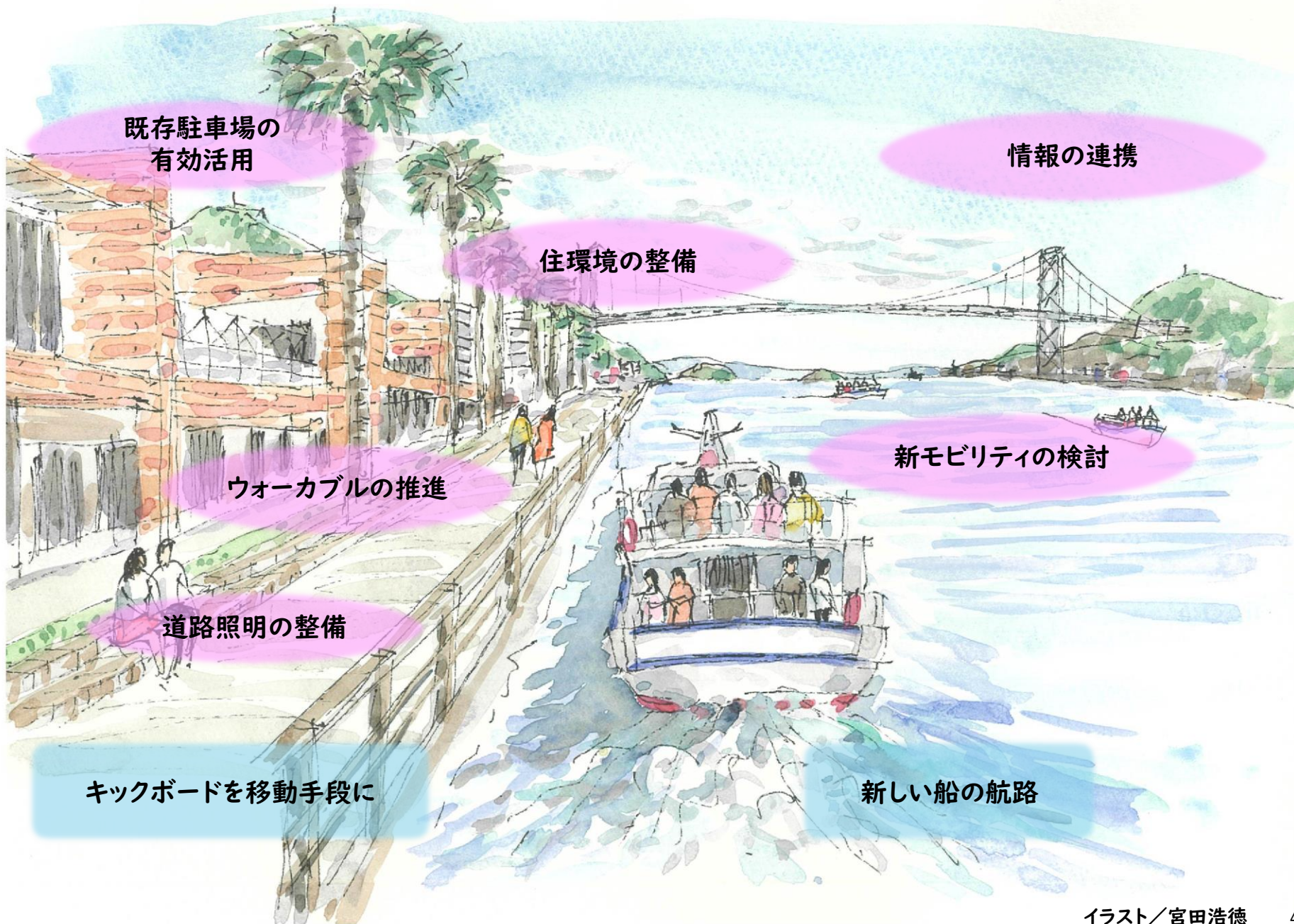
- ・イベントや観光等の情報が容易に入手できるようコンテンツ間の情報を連携する

将来

### 広がる(波及効果)

- ・来訪者が回遊することにより、周辺でもにぎわいが拡大していく
- ・にぎわいが拡大することにより、雇用が生まれ、居住者が増えていく
- ・居住者が増えることにより、新たなコミュニティが生まれ、まちが活性化していく





既存駐車場の有効活用

情報の連携

住環境の整備

ウォークブルの推進

新モビリティの検討

道路照明の整備





キックボードを移動手段に

新しい船の航路

# VI. 今後の推進体制



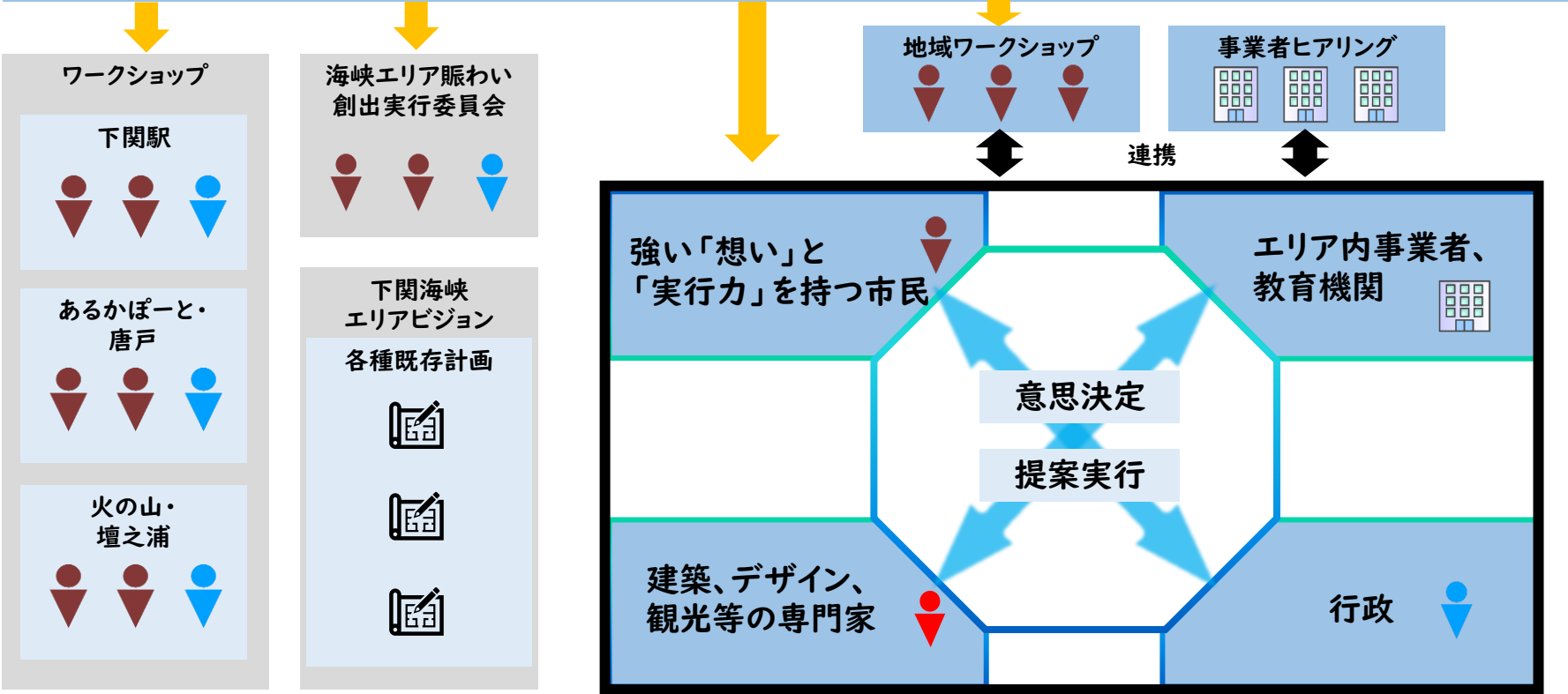
# 今後の推進体制

 市民
  事業者  
教育機関
  専門家
  行政

ビジョンの実現に向けて、市民、事業者、専門家及び行政が一体となって具体的な提案をしていく推進体制を構築し、よりよいまちづくりを進めていきます。



強い「思い」と「実行力」を持つ市民





# 参考



# 下関海峡エリアビジョン策定の流れ

エリアビジョンは、行政と市民・事業者の議論を通じて段階的に策定しました。

2019年度

## 「d design travel WORKSHOP in 下関海峡エリア」号

市内24名の参加者が記者となり、24のスポットのリサーチ、取材、撮影、原稿作成などを実施。

- |     |        |         |
|-----|--------|---------|
| テーマ | ●観光    | ●カフェ    |
|     | ●レストラン | ●宿泊     |
|     | ●買い物   | ●キーパーソン |



考え方	その土地らしいこと
	その土地の大切なメッセージを伝えていること
考え方	その土地の人がやっていること
	価格が手頃であること
考え方	デザインの工夫があること

## プレ次世代MTG

市内若手経営者による課題や魅力のディスカッション

まちの魅力の再発掘

2020年度

## サキミル会議

	レクチャー	ワークショップ
第1回	「プロジェクトを知る、参加する」	・エリア分け ・まちの課題 ・まちにあったらいいなと思うこと
第2回	「エリアマネジメントを学ぶ」	・自分自身の「実は」なこと ・自分でやってみたいこと
第3回	「これからの観光・商いを考える」	・エリアごとの「観光」を考える
第4回	「まちと市民との関わりを考える」	・自分でやってみたいことが地域に与える影響

下関海峡エリアの将来像をイメージ

2021年度

## サキミル会議NEXT

	ワークショップ
第1回	「下関駅エリア」の事業イメージ・将来イメージ
第2回	「壇之浦・火の山エリア」の事業イメージ・将来イメージ
第3回	「あるかぼーとエリア」・「唐戸エリア」の事業イメージ・将来イメージ

## カイキョートアソビ





あるかぼーと	火の山
・ファミリー1泊キャンプ体験	・ファミリーデイキャンプ体験
・ふれあい動物園	・ファミリー1泊キャンプ体験
・オモシロ自転車	・アスレチック
・釣り体験	・ツリークライミング
・出張 Mooovi	・マウンテンバイク
	・キッズバイク

将来イメージを深掘りする






# サキミル会議(2020年度)

2020年度は下関海峡エリアの将来像をイメージする場として「サキミル会議」を開催し、エリアビジョンの根幹となる方針を検討しました。

概要	目的	講演	様子
<p>第1回サキミル会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:2020/11/26(木) 18:30~21:00</li> <li>場所:DREAM SHIP 宙のホール</li> <li>参加者:24名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちの魅力再発掘プロジェクトのこれまでの取組や経緯、講師から市民参加の地域づくりの取組について学び、現在のエリアビジョンについて意見交換を行う。</li> </ul>	<p>「プロジェクトを知る、参加する」 講師:山崎 亮 氏 (株式会社studio-L 代表取締役)</p>	
<p>第2回サキミル会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:2020/12/18(金) 19:00~21:00</li> <li>場所:DREAM SHIP 宙のホール</li> <li>参加者:22名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師から様々な公共空間の活用事例や市民主体のエリアマネジメントとその仕組みづくり、重要なポイントについて学び、お互いの「実は・・・」を共有しながら、どんなことをしたいかを話し合う。</li> </ul>	<p>「エリアマネジメントを学ぶ」 講師:泉山 壘威 氏 (一般社団法人ソトノバ 共同代表理事・編集長)</p>	
<p>第3回サキミル会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:2021/1/22(金) 19:00~21:00</li> <li>場所:WEB会議システム</li> <li>参加者:28名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師ご自身が起ち上げた事業や地域への影響を学び、その後、グループに分かれて、これまで生まれたアイデアやビジョンをもとに自分ごととしてのあり方を検討する。</li> </ul>	<p>「これからの観光・商いを考える」 講師:木藤 亮太 氏 (株式会社ホーホウ 代表取締役)</p>	
<p>第4回サキミル会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:2021/2/25(木) 19:00~21:00</li> <li>場所:WEB会議システム</li> <li>参加者:22名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師からシビックプライドやシビックエコノミーについて学び、その後、グループに分かれて、これまで生まれたアイデアやビジョンをもとに自分ごととしてのあり方を検討する。</li> </ul>	<p>「まちと市民との関わりを考える」 講師:紫牟田 伸子 氏</p>	

# サキミル会議NEXT(2021年度)

2021年度はエリアビジョンの素案に対して、「将来イメージ」と「事業イメージ」を深めるため「サキミル会議NEXT」を開催しました。

概要	目的	参加者の声(一部を掲載)	様子
<p>第1回サキミル会議NEXT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:2021/11/17(水) 19:00~21:00</li> <li>場所:下関市役所 大会議室A・B</li> <li>参加者:21名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリアビジョンの基本及び下関駅エリアの将来イメージ、事業イメージについて、参加者で意見交換を行う。</li> </ul>	<p>下関駅は下関の玄関口であり、外から人が来やすい環境にあるため、様々な人がいろいろな取組を行いやすい環境にある／雰囲気の良いライティングの演出があると望ましい／期間限定の店舗出店などが継続的に行えるエリアになってほしい／SNSに投稿したくなるような場所があれば、若者に対する情報発信が進む</p>	
<p>第2回サキミル会議NEXT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:2021/11/24(水) 19:00~21:00</li> <li>場所:下関市役所 大会議室A・B</li> <li>参加者:10名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火の山・壇之浦エリアの将来イメージ、事業イメージについて、参加者で意見交換を行う。</li> </ul>	<p>火の山から見下ろす海峡の景観は絶景であり、SNSなどでもっと発信していくべき／整備を予定するジップラインとの相乗効果を期待して、山頂に飲食や温泉などができることを期待したい／海峡の景色を楽しみながら参加できる音楽イベントがあれば参加したい／活用するためには、明るくする整備が必要</p>	
<p>第3回サキミル会議NEXT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時:2021/12/14(火) 19:00~21:00</li> <li>場所:下関市役所 大会議室A・B</li> <li>参加者:16名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あるかぼーと・唐戸エリアの将来イメージ、事業イメージについて、参加者で意見交換を行う。</li> </ul>	<p>あるかぼーとにあるボードウォークを壇之浦や下関駅へ向けて延伸すれば、歩く人が楽しめる／国道によって海側と山側の回遊性が分断されるため、歩道橋など、回遊性を高める取組が必要／海を活用した海上レストランやウォーターショー、アクティビティがほしい／市民が楽しいと感じることの先に観光客が楽しいと感じることがある／歴史的な文化財を活用すべき</p>	







# カイキョートアソビ(2021年度実証実験)

2021年度には、あるかぼーと地区及び火の山地区における賑わい創出の実証実験として、キャンプやアスレチックなどの様々なファミリー向け体験型イベント「カイキョートアソビ」(10/29~11/28)を官民連携で開催しました。

## 【実証実験の概要】

- ・ 実証実験にあたってはサキミル会議などのこれまでの取組を踏まえて、家族連れを利用者と想定してコンテンツを企画・実施することによって、賑わい創出の方向性を検証しました。



地区	コンテンツ	総来場者数	反応	当日の様子
あるかぼーと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファミリー1泊キャンプ体験</li> <li>・ ふれあい動物園</li> <li>・ オモシロ自転車</li> <li>・ 釣り体験</li> <li>・ 出張Moovi</li> </ul>	3,185人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 釣り体験やファミリー1日キャンプ体験の人气が高い。</li> <li>・ キャンプ機能やふれあい動物園は今後もあるかぼーと地区にほしいという意見が多い。</li> </ul>	 
火の山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファミリーデイキャンプ体験</li> <li>・ ファミリー1泊キャンプ体験</li> <li>・ アスレチック</li> <li>・ ツリークライミング</li> <li>・ マウンテンバイク</li> <li>・ キッズバイク</li> <li>・ ロゲイニング</li> </ul>	3,642人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツリークライミングやファミリーデイキャンプ体験の人气が高い。</li> <li>・ キャンプ機能やアスレチックは今後も火の山地区にほしいという意見が多い。</li> </ul>	 

## まとめ

- ・ 両地区において想定した家族連れの利用者が多く、需要の高さを確認することができました。
- ・ アウトドア体験プログラムについて約9割の利用者が「感動した」「大変満足」「満足した」との反応であり、自然を活かした体験型アクティビティのポテンシャルの高さを確認できました。

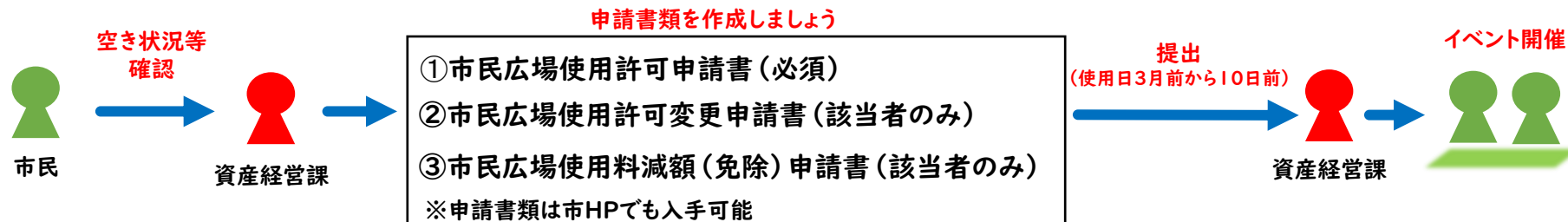
# 市民広場・都市公園を使ってみよう

下関市には市民広場や都市公園など、一定のルールに基づき利用可能な公共空間があります。ここでは「下関市 市民広場」と「オーヴィジョン海峡ゆめ広場」を紹介しますので、イベント等にぜひご活用ください。

場所(例)	使用時間	使用料金	申込方法(一部)	お問い合わせ先
<b>下関市 市民広場</b> 	9:00 ～ 21:00	芝生:約6,000円 園路:約3,000円 前庭:約2,000円 ※1日あたりの料金	<ol style="list-style-type: none"> <li>希望する利用日、イベント概要、空き状況等について、相談・確認の上、使用申込</li> <li>隣接商業施設等との連絡調整を行い、関係法令の遵守が必要な場合には、使用者側で必要な手続きを行う</li> <li>申請書類に必要事項を記入の上、使用日の3月前から10日前までに右記へ提出</li> </ol>	下関市総務部 資産経営課 TEL: 083-231-1150
<b>オーヴィジョン 海峡ゆめ広場</b> 	6:00 ～ 22:00	平日:4,840円 土日祝:5,810円 ※1時間までごとに ※その他設備等の使用料は公園緑地課まで問い合わせ	<ol style="list-style-type: none"> <li>希望する利用日、イベント概要、空き状況等について、相談・確認の上、使用申込</li> <li>隣接商業施設等との連絡調整を行い、関係法令の遵守が必要な場合には、使用者側で必要な手続きを行う</li> <li>申請書類に必要事項を記入の上、右記へ提出</li> </ol>	下関市都市整備部 公園緑地課 TEL: 083-231-1933



※申込方法については一部を紹介しています。その他詳細につきましてはお問い合わせ先に確認してください。

## 「下関市 市民広場」でイベント(物品販売等含む)を開催する場合



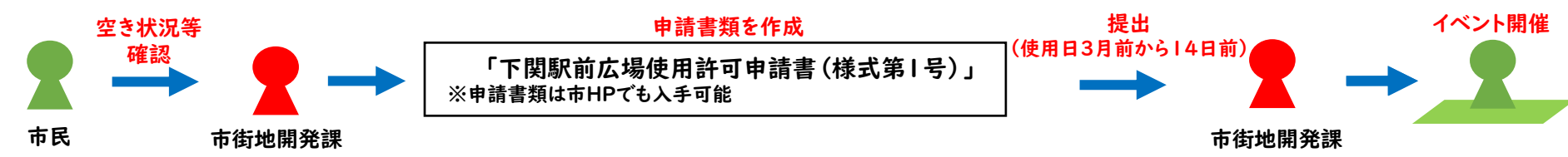
# エキマチ広場・道路空間を使ってみよう

下関市では、一定のルールに基づき利用可能な駅前空間・道路空間があります。ここでは「エキマチ広場」「道路空間(市道の歩道部)」を一例として紹介しますので、イベント等にご活用ください。なお、市道などの道路を使用する場合、警察署への申請が別途必要となります。

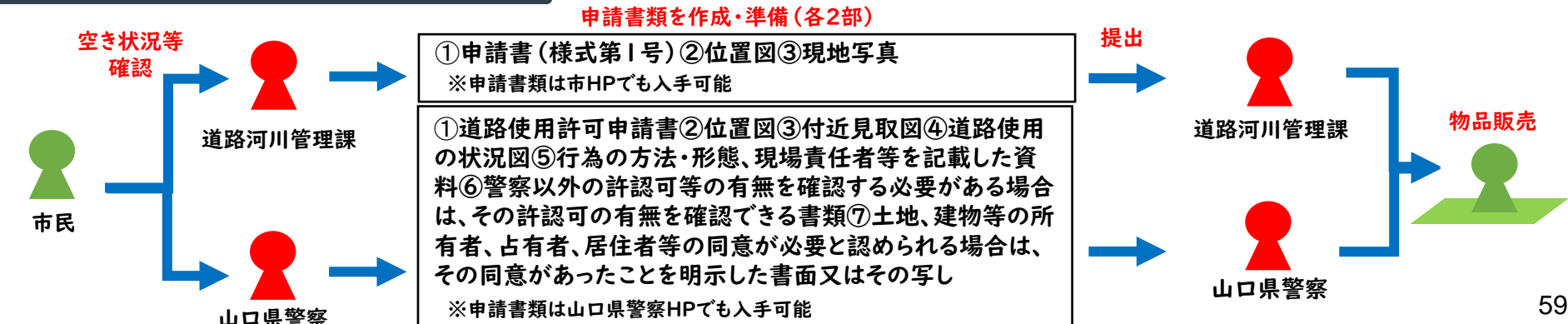
場所(例)	使用料金	申込方法(一部)	お問い合わせ
<b>エキマチ広場</b> 	全 面: 92,000円/日 9,200円/時 ステージ: 8,000円/日 800円/時 電 源 盤: 200円/日	① 利用日、イベント概要、空き状況等について、右記に問合せ ② 申請書類を使用日の3月前から14日前に右記に提出	都市整備部 市街地開発課 TEL: 083-224-2011
<b>道路空間(豊前田町)</b> 	占有面積1㎡につき440円/日  審査手数料: 2,230円 ※山口県証紙	① 利用日、イベント概要、空き状況等について、右記に問合せ ② 申請書類を右記に提出	下関市建設部 道路河川管理課 TEL: 083-231-1370  山口県警察 TEL: 083-933-0110

※申込方法は一部を紹介していますので、詳細はお問合せ先に確認ください

## 「エキマチ広場」でイベントを開催する場合





## 「道路空間(豊前田町)」で物品販売等を行う場合



# 支援制度一覧

下関海峡エリアの将来イメージの実現に向けて、活用可能な支援制度を抜粋してご紹介します。  
創業等でお困りの方やご相談のある方は、創業支援カフェKARASTA. (カラスト) までお問い合わせください。

カテゴリー	支援制度名称	対象者	概要	お問い合わせ先
創業・起業 	創業トータルサポート業務	・創業希望者 ・物件所有者 ・出店希望者	創業支援カフェKARASTA. (カラスト)において、創業希望者の発掘及び育成を段階的に実施するとともに、管理している商店街等の空き店舗の情報をもとに物件所有者と出店希望者とのマッチングの機会を提供し、創業から開店まで一貫して支援する。	創業支援カフェ KARASTA. (カラスト) TEL: 083-227-4747
	下関市創業者販路開拓等補助金	創業者	産業競争力強化法に基づく「特定創業支援等事業」を修了した創業者に対して、①経営コンサル等との相談②税理士等との相談③宣伝広告等④研修費等を補助。 【補助額】 ①～④:補助事業額1/2(上限10万円)	下関市 産業振興部 産業振興課 TEL: 083-231-1265
商店街活性化 	商店街等競争力強化事業費補助金	商店街振興組合・商店街組合等の商業団体	商店街振興組合・商店街組合等の商業団体(任意団体を含む)に対して、総合的な観点から商店街活動(①ソフト事業②ハード事業③設立時強化事業④インバウンド対応事業)に係る経費を補助。 【補助額】 ①:補助対象経費1/3(上限150万円) ②:補助対象経費1/3(上限1,000万円) ③:補助対象経費10/10(上限:初年度50万円、2年度30万円、3年度20万円) ④:補助対象経費1/2(上限50万円:商業団体等) (上限25万円:民間事業者)	下関市 産業振興部 産業振興課 TEL: 083-231-1220



※令和4年4月現在の支援内容です。今後変更する場合がありますので、上記までお問い合わせください。

# 支援制度一覧

カテゴリー	支援制度名称	対象者	概要	お問い合わせ先
空き物件活用 	リノベーションまちづくり拠点活動支援補助金	事業者	遊休不動産を活用しエリアマネジメントを行う事業者に対して、リノベーションまちづくりの手法を活用した賑わいを創出するモデル拠点の構築に係る経費の一部を補助。 <b>【補助額】</b> 初期投資費用・活動費1/2相当額(上限150万円)	下関市 総合政策部 エリアビジョン推進室 TEL: 083-231-5838
	商店街等空き物件活用促進事業費補助金		下関市内で新たに小売・飲食・サービス業を開始予定の事業者に対して、空き物件活用に伴う店舗賃借料や店舗改装費等の一部を補助。 <b>【補助額】</b> ①:3ヶ月分の支払家賃額1/3(上限20万円) ②:店舗改装費補助対象額1/6(上限150万円)	下関市 産業振興部 産業振興課 TEL: 083-231-1220
	空き家バンク	市内にある空き家物件の所有者と利用希望者	市内にある売買・賃貸を希望する空き家物件を下関市のホームページ等で情報提供することにより、空き家の所有者と利用希望者のマッチングを行う。	下関市 建設部 住宅政策課 TEL: 083-231-1941
	空き家対策説明会・個別無料相談会	空き家の所有者等	空き家法に基づく措置、空き家に関する補助金等についての説明会、空き家の相続や利活用について、宅地建物取引士及び司法書士による個別無料相談会により周知等を行う。	


※令和4年4月現在の支援内容です。今後変更する場合がありますので、上記までお問い合わせください。

# 支援制度一覧

カテゴリー	支援制度名称	対象者	概要	お問い合わせ先
<p>地域資源活用</p> 	<p>地域資源活用促進事業費補助金</p>	<p>事業者</p>	<p>地域の強みとなりうる地域資源を活用した新商品・新サービスの開発や販路開拓等に取り組む中小企業者に対して、新商品又は新サービスの開発に要した経費（謝金、旅費、賃金、原材料費、事業費、その他経費）の一部を補助。</p> <p>【補助額】   事業あたり上限50万円</p>	<p>下関市 産業振興部 産業振興課 TEL: 083-232-7214</p>
<p>事業所・工場設置</p> 	<p>下関市 企業立地促進奨励金</p>	<p>事業者</p>	<p>事業者(企業グループ含む)に対して、以下①~③を交付。</p> <p>①事業所設置奨励金 ②回線通信料等奨励金 ③雇用奨励金</p> <p>【補助額】</p> <p>①: 固定資産税額相当額100/100(上限1億円/年) ②: 回線使用料1/2相当額 賃借料(敷金、共益費、経費は除く)1/2相当額 ③: ①の交付を受けるもの (30万円/正社員1人、10万円/非正社員1人) ※上限:100人 ②の交付を受けるもの (最大65万円/正社員1人、最大30万円/非正社員1人) ※上限:300人/3年間</p>	<p>下関市 産業振興部 産業立地・就業支援課 TEL:083-231-1357</p>
	<p>下関市 地域経済牽引事業促進補助金</p>		<p>地域経済を牽引する事業を実施する事業者に対して、投下固定資産総額の一部を補助。</p> <p>【補助額】 投下固定資産総額の5%(上限1億円)</p>	

※令和4年4月現在の支援内容です。今後変更する場合がありますので、上記までお問い合わせください。

# 支援制度一覧

カテゴリー	支援制度名称	対象者	概要	お問い合わせ先
オフィス設置 	下関市 中心市街地 事務所立地促進 補助金	事業者	市外から中心市街地へ事務所を設置する法人等に対して、 ①事業所経費、②新規常用従業員雇用に係る費用を補助。 <b>【補助額】</b> ①:賃借料(共益費、敷金、権利金等除く)1/2相当額 (上限120万円/1社1年)※最大2年間 ②:30万円/正社員1人10万円/非正社員1人 (上限9人)	下関市 産業振興部 産業立地・就業支援課 TEL:083-231-1357
	サテライト オフィス等 環境整備事業 促進補助金		空き物件などを新規立地企業のニーズに叶うオフィス環境 等に改修するための経費の一部を補助。 <b>【補助額】</b> 改修に係る工事請負費 1/2相当額 (上限1事業者/500万円)	

※令和4年4月現在の支援内容です。今後変更する場合がありますので、上記までお問い合わせください。

# 下関海峽エリアビジョン

●令和4年(2022年)3月

■発行／下関市

■編集／下関市総合政策部エリアビジョン推進室

〒750-8521 山口県下関市南部町1番1号

TEL.083-231-5838 FAX.083-232-9569

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

E-mail : [ssareavi@city.shimonoseki.yamaguchi.jp](mailto:ssareavi@city.shimonoseki.yamaguchi.jp)